

平成 25 年度市政モニター 第 3 回アンケート結果

テーマ 1 「生物多様性の保全」について

環境部 環境政策課

テーマ 2 「広報活動」について

都市戦略部 広報課

テーマ 3 「市政モニター制度」について

総合経営部 広聴課

八王子市 総合経営部 広聴課

目 次

《市政モニターの属性》	2
テーマ1 「生物多様性の保全」について	3
問1 生物多様性の言葉の意味を知っていたか	3
問2 住まい周辺の動植物が以前と比べて変化したか	4
問2-1 どのような原因により減ったと思うか	4
問3 住まい周辺の自然環境への満足度	5
問4 生物多様性の保全のためにどのような自然を大切にしたいか	5
問5 これまでに参加した自然環境の保全活動・イベント	6
問6 人と自然が共生したまちづくりのために、市が重点的に取り組むべきこと	7
問7 八王子のみどりを守るために自身ができること、取り組んでいること（自由記述）	8
テーマ2 「広報活動」について	15
I 「くらしの便利帳」について	15
問1 前回発行した「くらしの便利帳」の活用状況	15
問2 「くらしの便利帳」に対する市の経費のかけ方や発行形態についての考え	16
問3 「くらしの便利帳」電子版の利用予定の有無	17
問4 「くらしの便利帳」の配布方法についての考え	17
問5 今回の「くらしの便利帳」を利用した感想や意見など（自由記述）	18
II 「インターネットの活用」について	24
問6 自身のインターネットの利用環境	24
問7 日常的に利用しているインターネットサービス	25
問8 市のインターネットによる情報提供サービスのうち利用したことがあるもの	26
問9 「広報はちおうじ」のPDFファイルをより活用してもらう方法	26
問10 今後、ツイッターやフェイスブックで知りたい市政情報	27
問11 インターネットを利用した市政情報の発信に対する意見や要望など（自由記述）	28
テーマ3 「市政モニター制度」について	34
問1 「市政モニター制度」を何で知ったか	34
問2 アンケート1回あたりのテーマ数	34
問3 1テーマあたりの設問数	35
問4 来年度以降も参加してみたい市政の活動	36
問4-1 市が実施する事業について連絡してもよいか	37
問5 「市政モニター制度」で取り上げるべき施策	38
問6 「市政モニター制度」についての意見・提案等（自由記述）	39

《市政モニターの属性》

(太枠内は今回の回収数)

		一般		Eメール		合計	
全体		34	34	65	64	99	98
性別	男性	12	12	35	34	47	46
	女性	22	22	30	30	52	52
年代	10歳代	0	0	1	1	1	1
	20歳代	0	0	6	6	6	6
	30歳代	4	4	18	18	22	22
	40歳代	9	9	13	12	22	21
	50歳代	2	2	7	7	9	9
	60歳代	13	13	14	14	27	27
	70歳代	6	6	4	4	10	10
	80歳代	0	0	2	2	2	2
地区	中央 (本庁地区)	9	9	19	19	28	28
	西南部 (浅川・横山・館地区)	9	9	10	10	19	19
	東部 (由木・由木東・南大沢地区)	8	8	11	11	19	19
	西部 (元八王子・恩方・川口地区)	3	3	7	7	10	10
	東南部 (由井・北野地区)	3	3	12	12	15	15
	北部 (加住・石川地区)	2	2	6	5	8	7

(市外転出者が1名生じたため、定員は99名。)

※ アンケート実施期間：平成25年12月24日から平成26年1月15日まで

※ 回収率：99.0%

※ 回答は各質問の回答者数(n)を基数とした百分率(%)で表示した。(百分率は、小数点以下第2位を四捨五入して算出してあるため、合計が100%にならない場合がある。また、複数回答の場合は、回答比率の合計が100%を超える場合がある。)

※ 割合の表現については、各値が、「0.0%」の場合は「0割」、「0.1~0.9%」の場合は「約〇割」、「1.0~3.9%」の場合は「〇割強」、「4.0~5.9%」は「〇割台半ば」、「6.0~8.9%」の場合は「〇割近く」、「9.0~9.9%」の場合は「〇割弱」との表記を基本とする。

※ 自由記述の番号は、通し番号でありモニター番号ではない。また、特定の個人、団体への誹謗中傷につながる内容や企業の営業活動に影響するもの等は、一部削除・修正した。

テーマ 1 「生物多様性の保全」について

環境部 環境政策課

「生物多様性」とは、様々な「自然」があり、そこに特有の「個性」を持つ様々な生きものがつながりあって生きていることをいいます。私たちが生活している地球環境は、こうした生きもののおかげでつながりとその相互作用によって、長い年月をかけてつくられてきました。

生物多様性は、酸素の供給、食べ物の供給、災害の軽減、地域色豊かな文化の存続など様々な場面で私たちの生活に恩恵をもたらしてくれます。例えば医薬品の成分には5万種から7万種もの植物からもたらされた物質が貢献しており、抗がん剤などが作られています。

現在、その生物多様性が急速に衰退し、世界的な問題になりつつあります。ところが、市民や市が生物多様性の保全のためにどのような取り組みをすべきかなど、生物多様性という言葉の意味も含めて、広く一般に知られていないのが現状です。

そこで、本年度に策定する「八王子市環境基本計画」の基本目標の一つである「人と自然が共生したまちをつくる」を実現させるために欠かせない「生物多様性の保全」について、今後の施策の推進に活用するために市政モニターの皆さんにお聞きします。

問1 あなたは、「生物多様性」の言葉の意味を知っていましたか。 (〇は1つだけ)

(n=98)

	構成比 (%)
言葉の意味を知っていた	42.9
意味は知らなかったが、言葉は聞いたことがあった	32.7
聞いたことがなかった	23.5
無回答	1.0

「生物多様性」の言葉の意味を知っていたか聞いたところ、「言葉の意味を知っていた」が4割強(42.9%)と最も多く、次いで「意味は知らなかったが、言葉は聞いたことがあった」が3割強(32.7%)であった。

問2 あなたのお住まい周辺の動植物は以前と比べて変化がありましたか。 (○は1つだけ)
(n=98)

	構成比 (%)
減った	25.5
どちらかと言えば減った	35.7
変わらない	25.5
どちらかと言えば増えた	1.0
増えた	0.0
わからない	12.2

住まい周辺の動植物が以前と比べて変化したか聞いたところ、「減った」(25.5%)と「どちらかと言えば減った」(35.7%)を合わせた『減った』は6割強(61.2%)であった。

(問2で、「減った」または「どちらかと言えば減った」とお答えの方に)

問2-1 どのような原因により減ったと思いますか。 (○は3つまで)
(n=60)

	構成比 (%)
都市化により緑地や農地が減少したり、様子が変わったため	85.0
地表を覆うコンクリートやアスファルトにより、水源かん養(雨水など地表の水が浸透し地下水となること)の機能が減少したため	53.3
気温・気候が変化したため	40.0
外来動植物(人為的に自然分布域の外から持ち込まれた動植物)の繁殖により、在来動植物(もともとその地に生育していた動植物)が減少したため	23.3
森林が適正に管理されていないため	21.7
里山(人里の近くにあり、人が活用してきた森林)等における人の活動が減少したため	18.3
その他	5.0

【その他】

- ・ 公園・河川などの工事や造成で画一的な植栽をしたため。
- ・ 建設会社の斜面緑地の乱開発、宅地化
- ・ こうした問題に無関心な市民が多くなったから。

問2で「動植物が以前と比べて減った」と回答した方に、何が原因だと思うかを聞いたところ、「都市化により緑地や農地が減少したり、様子が変わったため」が8割台半ば(85.0%)と最も多く、次いで「地表を覆うコンクリートやアスファルトにより、水源かん養の機能が減少したため」が5割強(53.3%)であった。

問3 あなたは、あなたのお住まい周辺の自然環境には満足していますか。 (○は1つだけ)
(n=98)

	構成比(%)
周辺の自然は豊かなので、このままの状態を維持してほしい	50.0
周辺の自然は豊かとは言えないので、もっと自然環境の保全に力を入れてほしい	24.5
周辺の自然は豊かとは言えないが、このままの状態がかまわない	17.3
その他	4.1
無回答	4.1

【その他】

- ・ 景観や防災等もっと管理してほしい。
- ・ 地権者の手入れが行われないので、里山が森林化してきている。
- ・ どちらかというど街中に自宅があるため、豊かとは言いがたいと思うが、不満等があるわけでもないのが本音だ。
- ・ 自然は市街地より多いと思うが、周辺を含めてゴミの不法投棄が多すぎる。町会も自治会も知らん顔。

住まい周辺の自然環境に満足しているか聞いたところ、「自然は豊かなので、このままの状態を維持してほしい」が5割(50.0%)と最も多く、「自然は豊かとは言えないので、もっと自然環境の保全に力を入れてほしい」が2割台半ば(24.5%)であった。

問4 あなたは、生物多様性の保全のためにどのような自然を大切にしたいと思いますか。 (○は3つまで)
(n=98)

	構成比(%)
森林・里山	85.7
河川	67.3
公園・緑地	54.1
水田・畑	29.6
身近な生きもの	24.5
絶滅の危機にある野生の生きもの	23.5
その他	1.0

【その他】

- ・ 自然だけではなく、世にはびこっているペットショップのあり方も見直した方が良く思っている。

生物多様性の保全のためにどのような自然を大切にしたいと思うか聞いたところ、「森林・里山」が8割台半ば(85.7%)と最も多く、「河川」が7割近く(67.3%)、「公園・緑地」が5割台半ば(54.1%)で続いた。

問5 あなたが、これまでに参加した自然環境の保全活動・イベントをお答えください。

(〇はいくつでも)

(n=98)

	構成比(%)
まちや川などの清掃	42.9
講演会、シンポジウム、勉強会	30.6
自然観察会や自然体験講座などのイベント	29.6
木を植える、木の成長を促すための間引き、下草刈りなどの森林保全	15.3
休耕田や遊休農地を活用した農業体験	7.1
動植物の生息・生育の調査	6.1
外来動植物の駆除	5.1
絶滅の危機にある野生の生きものの保護	2.0
その他	3.1
参加したことがない	36.7

【その他】

- ・ 町会のごみ拾い
- ・ 長沼、平山、小宮、長池各公園、東薬大の散策&動植物の観察
- ・ 身近にいる昆虫の保全

これまでに参加した自然環境の保全活動・イベントを聞いたところ、「まちや川などの清掃」が4割強(42.9%)と最も多く、「講演会、シンポジウム、勉強会」が約3割(30.6%)、「自然観察会や自然体験講座などのイベント」が3割弱(29.6%)であった。

問6 人と自然が共生したまちをつくるために、市が重点的に取り組むべきことは何だと思えますか。

(○はいくつでも)

(n=98)

	構成比(%)
森林を適正に管理する	67.3
里山を保全する	52.0
河川などの水質をきれいにする	52.0
公園や緑地を保全・整備する	51.0
自然環境の現状を把握する	36.7
身近な森林や水辺を自然とのふれあいの場として活用を図る	35.7
環境教育や自然体験学習を推進する	35.7
木材を、建築材料や木質バイオマス（燃料や製紙原料など、再生可能な木材からつくられる有機性エネルギーや資源）として利用する	33.7
休耕田や遊休農地を活用する	33.7
外来動植物を駆除する	28.6
街路樹、植え込みを増やす	27.6
雨水を地下に浸透しやすくするための設備（雨水浸透ますなど）の設置を促進する	24.5
環境学習リーダー等の担い手を育成・支援する	24.5
市民農園を増やす	23.5
アドプト制度などを拡大し、市民との協働で緑化を進める	12.2
その他	11.2

【その他】

- ・ 市民のモラル向上のためのPR
- ・ 街路地にある樹木の整備
- ・ 自然の大切さをわかり人に伝える。また昔自然と共存していた年配者も自然とふれあう機会が減ったため、もう一度ふれあう機会が必要。
- ・ 一般市民だけでは手が届かない大がかりな、でも根本となるような設備などに、特に力を入れていただきたい。問5のような項目であれば、私たちにも手の届く範囲なので、それ以上の事柄を問6では、市に対して望むものとして○をつけた。
- ・ 市が方針を明確にし、市民に幅広く活動の場を示すことだと思う。

市は、活動費の負担をなくすために、活動を連携し、いろんな活動を連絡するシステムを構築し、関係を維持させる。

例1：休耕田や遊休農地を活用→生産した物を→道の駅や市内の給食→廃棄物→再び休耕田や遊休農地または他へ

例2：森林の適正管理及び里山保全→間伐材、下草等々→木材チップメーカー→建設、土木会社→…

要は、市民と活用会社の間に入って、その間の連絡ルートを開発し、管理すれば活動も続

くと思う。行政費の負担も少なくてよい。いかにルートを開発するかである。民間企業の力を最大限に活用すること。

- ・ 農地や雑木林の放置地権者への整備勧告。
- ・ 企業に働きかける。協働して自然保護活動に取り組む。
- ・ 不法投棄やポイ捨てに対する独自の条例制定による、市民と協働した徹底的な取り締まりと啓発活動。

人と自然が共生したまちをつくるために、市が重点的に取り組むべきことについて聞いたところ、「森林を適正に管理する」が7割近く（67.3%）と最も多く、次いで「里山を保全する」（52.0%）と「河川などの水質をきれいにする」（52.0%）、「公園や緑地を保全・整備する」（51.0%）が5割強であった。

問7 市では、みどりを守るためには市民一人ひとりの協力が欠かせないと考えています。八王子のみどりを守っていくためにあなた自身ができることはどんなことですか。または、取り組んでいることがあればご記入ください。（自由記述）

庭をきれいにする

- 1 各家庭に協力してもらい、草、木、花をなるべく植えるようにお願いします。
シルバーの方をお願いして雑草を取り除き、花の種をまく（ボランティアだけでなく）。
(60代 女性 中央)
- 2 自宅だけでも庭等をきれいにする（例えば市が苗木や種、肥料配付）。
(40代 女性 西部)
- 3 春、秋にある植木市へ行って植木を購入して庭に植えている。また、イベントのときに花苗をもらってきたりしている。
(60代 女性 中央)
- 4 周囲を見渡すと、改築のたびに駐車場のスペースが増え、庭木がなくなっていく家が多い。市民一人ひとりが庭木（植え込み）を維持することが、八王子のみどりを守ることにつながっていることを自覚すべきと考える。狭いながらも庭先で、四季折々の野菜づくりを行っている。
(70代 男性 北部)
- 5 我家では、垣根にみどりの木を植え、庭に沢山の花を育てている。
(60代 女性 西南部)
- 6 ベランダに植物を置いている。ないよりも一つでもあれば、目も潤うし、植物に対して気にかける気持ちを持ち続けられる。
(40代 女性 東部)
- 7 観葉植物を育てる。
(40代 女性 中央)
- 8 庭に植栽を心がけている。
(60代 男性 中央)
- 9 花の苗を植えて育てること。自分で行動を起こしていきたい。
(30代 女性 西南部)

ごみ・排水について

- 10 ごみのポイ捨てをしない。ごみを放棄しない。ごみを持ち帰る。
(30代 女性 東部) (同様多数)

- 1 1 ごみを拾う（公園・散歩道、近所等）。 (40代 女性 東部) (同様3件)
- 1 2 ごみの分別をする。リサイクルをする。 (30代 男性 中央) (同様2件)
- 1 3 ごみを減らす、出さない。 (50代 男性 中央) (同様2件)
- 1 4 ダンボールコンポストを普及させていけばよいと思う。 (30代 女性 北部)
- 1 5 「護美（ごみ）」の漢字表記のとおり、美を護るためにごみは必ず持ち帰り、八王子のルールに従って、有料ごみ袋にて処分している。これができない人が増えている気がする。歩道の植木の茂みの中に空き缶やコンビニ袋に包まれた食べた後のごみが挟まれているのを見かけることがあり、これが通学路だったりするとやるせない気分になる。正直、外国人はごみに対する意識が低いと思う。彼らは日本のみどりを壊していると思う。
(40代 女性 西南部)
- 1 6 高尾山等含め、ごみを捨てたら罰金など規制する。 (40代 女性 西部)
- 1 7 大学への通学中にごみ拾いをする。でも、ごみ拾いをしていると、周りの人たちの目は冷たく、変人のように扱われるので、大変不愉快である。だから、八王子市民は温かい人が少ないと感じることの方が多いし、市民が自然豊かな地域をつくろうとしていないと思う。
(20代 女性 東部)
- 1 8 公園、緑地等に空き缶、空き瓶等のポイ投げをしないこと。 (40代 男性 西南部)
- 1 9 生活排水の垂れ流しに気をつける。 (70代 女性 西部) (同様2件)
- 2 0 道路のごみ・川原のごみ・街路樹のごみ。たばこを含めてポイ捨てを、まずしないことが最低限の取り組みだと思っている。 (30代 女性 中央)

公共の場所について

- 2 1 町内ではアドプト制度を利用して町内に花を植えたりしている。 (60代 女性 中央)
- 2 2 里山、公園を汚さないこと。 (60代 男性 東部)
- 2 3 道を汚さない。 (40代 女性 中央)
- 2 4 河川、公園などの清掃、花壇、植木の水やり、草取りなど、参加できる。
(40代 女性 中央)
- 2 5 市内の公園を利用した活動を行う。公園を利用することで、公園がすたれて森林が荒れないように注意する。 (20代 女性 東部)
- 2 6 きれいに公園を使う。 (50代 女性 西南部)

環境を守る活動に参加

- 2 7 環境保全のための大掃除など。グリーンサポーター的活動。 (50代 男性 東南部)
- 2 8 里山、河川敷の清掃等のボランティア。 (70代 男性 北部)
- 2 9 環境学習支援に参加、里山保全に参加。 (70代 男性 東南部)
- 3 0 積極的にボランティア活動に参加する。間伐・植樹に参加したことがある。
(20代 女性 東南部)
- 3 1 環境問題に関する学習会、イベント（シンポジウム等）への参加。 (30代 男性 中央)
- 3 2 町内会で実施している公園のアドプト活動や、清掃などに参加することが身近で参加しやすいかと思う。 (30代 女性 東南部)

- 3 3 今後、取り組んでみたいこと。
 ①自然保護活動や自然観察会などに積極的に参加して、自然の保護状況を実体験で把握すること。
 ②身近な自然を紹介するボランティア活動をすること。(例：高尾山の案内など)
 (50代 男性 西南部)
- 3 4 里山のごみ収集の手伝いや、クラフトなどの資源のリサイクルによる無駄の削減ができ
 ると思う。(20代 女性 中央)

公共交通利用・車・家電

- 3 5 自然環境を守る立場から考えると、悪の根源は車である。極力、公共交通を利用し、マ
 イカー使用を減らすことが大切だと思う。(70代 男性 北部)
- 3 6 徒歩や自転車、公共機関を使う。(30代 女性 西部)
- 3 7 家の前の道路の、車の交通量が年々増加し、空気が汚れていくのを実感している。八王
 子は交通の便が悪く、車なしでは生活できない。地下鉄などの開発を進めて欲しい。バス
 の料金も高いように感じる。(30代 女性 西部)
- 3 8 エアコン・車など、余計なCO2を出さないように、無駄遣いをしない。
 (30代 女性 西部)
- 3 9 エアコンの温度設定に気をつけ、省エネ実行。(20代 男性 東南部)

意識向上

- 4 0 周囲の環境に興味を持つ。(40代 女性 中央)
- 4 1 住んでいる地域の樹木を大切にしたい気持ちと、みどりから受ける恩恵に感謝する気持ち
 を持ち、ともに共存していきたいと思う。(60代 男性 東部)
- 4 2 一人一人が意識することが大切。大人も子どもも今自分ができるところをし、未来のこ
 とを考えて行動することが必需と考える。私が現在行っていることは、毎月の美化パトロー
 ルや正しくごみを分別すること、海や川に行ったときには汚さないように気をつけること
 ぐらいである。ただ自分を含め、周囲を見渡すと大人も子どもも意識の低い人が多い
 ような気がする。子どもは大人をよく見ている。まずは大人から高い意識を持つことで変
 わり始めるのではないか。(40代 女性 西南部)
- 4 3 身近なみどりを守り、社会を持続可能なものにしていくためには、都市（八王子市）な
 どで暮らす人々の意識や価値観、行動を変え、社会の仕組み自体を変える必要があると、
 毎日思っている。それは、自然を守るのも破壊するのも人の行動や社会の仕組みにかかっ
 ていると思うからである。(60代 女性 西南部)
- 4 4 市民がみどりに対し理解。(50代 女性 中央)
- 4 5 自然を慈しみ、親しみを持つことが最も大切なことだと考える。高尾山や陣馬山などの
 市内の山々に興味を持ったり、散策することも一つであり、富士森公園など、市内の公園
 で四季を感じることも、みどりを守っていく考えの一つだと思う。(30代 女性 中央)

環境を守る資金を確保

- 4 6 緑市債への協力。 (60代 男性 西部)
- 4 7 自然保護基金への出資。 (60代 男性 東南部)
- 4 8 植樹運動、募金で植樹を行う。 (50代 男性 西部)

市への要望

- 4 9 自分自身ができることは、①枯葉の清掃②掲示板の作成の協力（立ち入り禁止、案内板等の掲示など）。 (60代 男性 中央)
- 5 0 八王子には、高尾山、多摩御陵、実験林等、多くのみどりを楽しめるので、市の管理、整備をよろしく願います。 (60代 女性 西南部)
- 5 1 公園や遊歩道などの清掃、整備に参画することから始めている。市がすべての整備を行うには限界があると思う。市民のボランティア活動などを通じて自分たちの町は自分たちで整備し守るという環境ができるとよい。そのような活動に対して市が援助する制度を充実することが重要と考える。 (60代 男性 東部)
- 5 2 自宅の周囲を生垣にして、そのメンテを続けている。市内全域でブロック塀から生垣への変更を市がサポートする方策が考えられても良いのではないか。 (60代 男性 北部)

わからない・取り組んでいない

- 5 3 わからない。教えてほしい。できるものがあればやりたいと思う。 (30代 女性 東南部)
- 5 4 取り組んでいることは、今のところない。これから考えたい。 (40代 女性 中央)
- 5 5 自身ができることを思い浮かべない人がたくさんいるのではと思う。みどりの大切さを、小学校の時から学びたかった。 (60代 女性 中央)

その他

- 5 6 尾根緑道近くに住んでいるが、一步緑道を外れるとフェンスにつる植物がからみ、それが横の木々に巻きつき、樹木がつる植物でおおわれ、息のできない状態になっている。
また、害虫によって枯れた樹木は早いうちに撤去した方がよいと思う。時々、フェンスにからみついた「つる物」を取り除いている。 (70代 女性 東部)
- 5 7 個人的に気をつけていることは、そこにある自然のものに手をつけないこと (40代 女性 西南部)
- 5 8 高尾山の清掃活動に参加したり、緑化とは直接結びつかないが地域の清掃活動に参加したりしている。庭の落葉も腐葉土になるように、ごみに出さずに埋めて利用している。
また、森林センターの行事に子どもと参加して、森林や森に住む生き物と親しむように心がけている。 (40代 男性 西南部)
- 5 9 NPOをやっている81歳の老人を手伝い、現在、畑に山桜、コナラ、クヌギ、トチ、レンギョウ、アジサイの苗を育てている。 (60代 男性 西部)
- 6 0 体調不良により、具体的、積極的な活動はできないが、近くの遊歩道を散歩しながら、周辺の自然の変化などを自分なりに記録している。行動半径は狭いが、そこでの感想なりを市へ発信できたらいいなと思うときがある。 (60代 女性 東部)

- 6 1 私は毎日都立「内裏谷戸公園」を散歩しているが、サンクチュアリもあり、自然豊かな公園である。この自然豊かな公園を守るため、ごみを出さない、捨てられたごみを回収する等の活動をして、野鳥、日本固有種の植物を守るための認識、行動をしていきたいと思う。
(60代 男性 東部)
- 6 2 地域の道路、河川清掃には積極的に参加している。また、所有の山林等については、定期的に管理している（下草刈りなど）。
(60代 男性 西南部)
- 6 3 現在の年齢と住環境で、具体的活動には限界が出ている。しかし、休耕地に植物を可能な限り植えてみどりにしたり、ブロック塀を植木にしたり、家の改修等は、可能な限り地元（多摩産と業者が言う）木材を使っている。
(70代 男性 西南部)
- 6 4 以前は環境を守る会という団体に所属し、年3～4回の浅川の清掃、古紙やアルミ缶の回収をしていた。3年前に体調を崩してからは休んでいる。みどりを守るといっても身近なこと、みんなができることから始めることが肝要と思う。体調が戻りしだい活動を再開するつもりである。
(70代 男性 西南部)
- 6 5 みどりを守るには直接つながらないが、地域清掃は行うようにして、住みよい環境作りには参加しているつもりだ。
(40代 女性 西南部)
- 6 6 八王子は、他市と比較してもみどりが少ないということはないと思う。触れ合おうと思えば簡単にできるので有難いことである。私は嫁いで来て以来30年以上町会の美化部で掃除、草取り、花植え、チューリップ球根植え等に関わって来た。最近はアドプト制度を利用させていただき活動している。市としては各市民の関心が途切れることのないよう、広報活動の継続をお願いしたい。
(60代 女性 中央)
- 6 7 住んでいる団地を取り巻く八王子市の敷地で、枯れた樹木の剪定・伐採等に取り組んでいる。既にアドプト制度を取り入れているが、その敷地の樹木の剪定をしている。
(60代 男性 東部)
- 6 8 子どもをつれて、遊びに行くとき、公園や河川敷でごみを捨てたり、育成中の芝生に入ったりしないよう気を配っている。
(30代 女性 中央)
- 6 9 3年半前に新築した際、フェンスではなく生垣を指定されたが、大変良いことだと思う。いたって細やかであるが、みどりが小鳥を呼び自然を呼び戻す効果があると思う。
(60代 男性 東部)
- 7 0 川や遊歩道を清掃している。カブスカウトの団員として、里山保全をしていた。休耕田を市で借りて、有志で保全してはどうか。
(40代 男性 東部)
- 7 1 公園には子どもが世話になっているので、気がついたごみは拾うようにしている。
(40代 女性 中央)
- 7 2 みどりを守るためには一個人としてはごみを拾う、清掃する、環境づくりに協力する程度だ。しかし、多数の人数が集まれば予算を組んで浅川の土手、町の街路に木を植えたい。また、シルバー人材等への管理依頼等をすれば、今よりもっとみどりが豊かになるのではないかと思う。
(60代 男性 中央)
- 7 3 八王子市は他市に比べるとみどりはあると思う。しかし、そのみどりが見るだけのもので、手に触れられないみどりが多いと思う。
昔の人は、近くのみどりに手をかけることで食や製品にして生活に活用していた。それが

安い輸入品により価値のないものと見られがちになった。自然のものはとても価値があるという教育、啓蒙が必要だ。

また、団地、マンションの多い南大沢地区は、畑、田んぼがないので、なんでも買う。花、木は取ってはいけない。自然のありがたみを感じられる野原で野草を採って食したり、畑で自分でつくって料理をして食すことがおいしい、健康に良いと感じられるように自然の大切さを孫に伝えている。(散歩しながら木々の名前、実、花を見て) (70代 女性 東部)

7 4 森の環境などに配慮した製品を買う。資源の無駄づかいをしない。紙は再生紙を選ぶ。自分の家のまわりにみどりを育てる等だが、個人の力には限界があるので、清掃や植樹などの活動にも参加したり、支援したりできるとよいと思う。(40代 女性 中央)

7 5 近くに川や遊歩道があるが、カルガモやシラサギが泳いでいたり、遊歩道には樹木が植えられていたり…と、だんだん都市化していく中でも、大切な自然は守られているなあと感じるし、その風景が好きである。なので、川の清掃や木々の保全、公園などの整備…、市の力も必要かとは思いますが、自身のできる範囲として「ごみを捨てない」「落ちていたら拾う」「川の水を汚さない工夫」をしていきたいと思っている。また、最近ガーデニングにも興味があるので、自宅で野菜づくりをしたり、花を育てたりすることが自然環境に対し、微力ではあるが、良い影響を与えていくことになるかなと思い、楽しみながら長続きさせていきたいと思っている。(30代 女性 西部)

7 6 “公園をみどりに”と思うが、防犯のこともあり、両立する方法がないものか？知恵が必要。ヨーロッパの公園はみどりがいっぱい緑地が多い。「防犯の基本は“自己責任”が多い国のせいもあるが、参考になる面もあると思う。(70代 男性 西南部)

7 7 高尾山の自然を守るため、登山時はペットを同伴しないこと。(世界でもナンバー1とも言える程の多種多様な) 動植物の生態系維持をしていきたい。

他にできること：八王子は緑豊かなため学校数も多い。市民だけでなく、教育環境としても、これからも今ある環境をなるべく残す。ないと思うが、放射能汚染物処理地として、前々知事が多摩の地を候補としていたが、今は秘密保護法が成立したため、市民の未周知の中で、そのようなことが起きないように市政に目を見張ること。(50代 女性 中央)

7 8 人間が生きるためには住む場所が必要だ。便利にするには自然をこわして新しく作る…だと限界に近い状態に来ていると思う、この狭い日本で。

自然をこわさず、これ以上手をつけず、今人間が生活している所をもっと有効活用していけたらと思うので、今ある物を大切に使い、資源として再利用できるようにする。

(40代 女性 西南部)

7 9 ホテルや旅館で、部屋に提供されているアメニティグッズを使わないと、それが環境保全の寄付になるという「グリーンコイン活動」を時々見かける。使わなかった分だけ、環境保全のための資金として使われる仕組みはさり気なく、それでいてしっかりと語りかけられるようでとても良いことだと思う。スーパーでのエコバック持参、飲食店でのマイカップやマイ箸の持参など、比較的一般に知られている環境保全活動に、グリーンコイン活動のような仕組みを浸透させられれば、活動の認知度も上がり、市民も無理なく協力できると思う。(30代 女性 東南部)

8 0 セイタカアワダチソウ等の駆除。(70代 男性 東南部)

- 8 1 家の周囲は極めてみどりが多くて環境がよいが、最近は雨が少ないことが度々あり、その時は必ず放水に努めている。自分の木でなくとも協調精神で市民の参加を希望する。
(80代 女性 東部)
- 8 2 八王子市内の河川をもっともっと綺麗にできれば素晴らしいと思う。(50代 男性 中央)
- 8 3 河川の整備（自然環境に即した整備）。(50代 男性 西部)
- 8 4 一番の大きな理由は、不要な街の乱開発にある。要は不要な公共事業をなくすことが、みどりを守ることになると思う。(40代 男性 東南部)
- 8 5 今回のアンケートのおかげで、この問題に興味を持った。八王子のみどりの多い地域と住宅地域との区分はどうなっているのか。(60代 女性 東南部)
- 8 6 八王子市の自然環境のすばらしさをしっかり認識し、たとえ多少の不便があつたとしても、自然を守るために市民の理解を促す活動に協力したい。東京都心から1時間以内で、オオタカが舞う自然環境はかけがいのないもので、長期的に見れば、全国的、世界的な資源として活用できるはずである。(30代 女性 西部)
- 8 7 八王子といっても、かなり広い地域になる。まずは、八王子の現状をひとり一人が知ることが優先だと思う。そのうえで、保全活動のボランティアを募集したり、自然に触れる機会があればいいと思う。(50代 女性 東部)
- 8 8 ポイ捨てで街を汚さないこと、緑地の保全活動に参加することと、日々の移動にもなるべく環境に負荷をかけないバイクで移動する。自宅近くで採れるカブトムシの幼虫を市外の子どもに育ててもらい、東京の自然を感じてもらふことや、緑地の保全活動など。
(40代 男性 西南部)
- 8 9 生まれてから30年、ずっと八王子で暮らしているが、特に環境保全を意識したことはなかったが、都心で働いていると、八王子のみどりの多さに気づかされる。私自身は、環境保全のイベント等に参加したことはないが、やはりそういったイベントに積極的に参加し、意識を高めることが必要だと思っている。そうすることで、日常の生活において環境に配慮する意識も高まると思う。そのためには八王子の現在の自然環境や過去からどのように変化してきたのか、私たちは何をすべきなのか学べるようなイベントがあれば是非参加したいと思う。
(30代 男性 中央)
- 9 0
- ・買い物は必要最小限にとどめる。
 - ・子どもたちと、自然の美しさを共有する。
 - ・洗剤など、自然にかえるものを使用する。
 - ・化学製品の使用は控える。
- (30代 女性 中央)

テーマ2 「広報活動」について

都市戦略部広報課

広報課では、「広報はちおうじ」をはじめ、市の業務内容などを掲載した「くらしの便利帳」の発行や、ホームページによる情報発信など、多様な広報活動を展開しています。この「くらしの便利帳」については、2年ぶりの全面改訂を機に、今年からNTTタウンページの巻頭に掲載し、12月初旬から順次市内全世帯に配布しています。

また、インターネットを活用した情報発信の一環として、12月2日からツイッターとフェイスブックも活用し、各種の施策やイベントなどの情報発信を開始しました。

今後の広報活動の参考とさせていただくため、「くらしの便利帳」と「インターネットの活用」について、市政モニターの皆さんにお聞きします。

I 「くらしの便利帳」について

「くらしの便利帳」は、前回平成23年度の発行では、官民協働方式を採用し、印刷費用（約1,800万円相当）を広告収入で全額賄ったほか、配布費用約900万円は東京都の補助金を活用するなど、なるべく市の経費をかけず、全世帯にお届けできるよう工夫してきました。

今年度からは、行財政改革の取り組みをさらに進め、NTTタウンページの巻頭に掲載することにより、印刷や配布に市の経費をかけずに数年おきの発行だったものを毎年改訂してお届けできるようになりました。

この「くらしの便利帳」について、ご意見やご感想をお尋ねします。

問1 前回（平成23年度）発行した「くらしの便利帳」の活用状況を教えてください。

（〇は1つだけ）

（n=98）

	構成比（%）
よく使っている	7.1
ときどき使っている	40.8
ほとんど使っていない	31.6
全く使っていない	20.4

前回（平成23年度）発刊した「くらしの便利帳」の活用状況を聞いたところ、「ときどき使っている」が約4割（40.8%）と最も多く、次いで「ほとんど使っていない」が3割強（31.6%）であった。

問2 今回発行した「くらしの便利帳」は、NTTタウンページと合冊することで、印刷や配布に市の経費をかけずに毎年内容を改訂してお届けできるようになりました。

「くらしの便利帳」に対する市の経費のかけ方や発行形態についてあなたの考えに最も近いものは次のうちどれですか。

(○は1つだけ)

(n=98)

	構成比 (%)
今回のように、合冊で良いので市の経費をかけずに毎年発行してほしい	54.1
前回のよう、隔年でも良いので市の経費をかけず「くらしの便利帳」単独で発行してほしい	22.4
市の経費がかかっても「くらしの便利帳」単独で発行すべきである	5.1
市の経費がかかる場合は、有料化も検討すべきである	8.2
その他	10.2

【その他】

- ・ タウンページが配布されない世帯で、インターネットの活用が難しい世帯へは、所得に応じて印刷経費の負担を求めることで、従来型の便利帳も残してもらいたい。
- ・ ほしい人に有料で配付。
- ・ 希望者に有料で。
- ・ 必要な人だけ貰えるようにしてほしい。固定電話を使わないので、そのまま捨てる場所だった。
- ・ タウンページは不要と思い、処分してしまった。
「くらしの便利帳」なら保管していた。よく見なかった自分が悪いが、わかるようにしてほしい。
- ・ 合冊で良いので市の経費をかけずに隔年で発行。
- ・ 毎年の必要はないのではないか、2年に一度程度で。
- ・ タウンページと合冊すると厚くなる。
- ・ 今後不要。

「くらしの便利帳」に対する市の経費のかけ方や発行形態についての考えを聞いたところ、「今回のように、合冊で良いので市の経費をかけずに毎年発行してほしい」が5割台半ば(54.1%)と最も多く、次いで「前回のよう、隔年でも良いので市の経費をかけず「くらしの便利帳」単独で発行してほしい」が2割強(22.4%)であった。

問3 今回発行した「くらしの便利帳」の情報は、来年1月から市やNTTタウンページのホームページで電子版でも閲覧できるようになりますが、電子版をご利用になる予定はありますか。
(○は1つだけ)

(n=98)

	構成比 (%)
使ってみたい	23.5
必要があれば使う	50.0
使う予定はない	21.4
どちらともいえない	5.1

「くらしの便利帳」電子版の利用予定について聞いたところ、「必要があれば使う」が5割(50.0%)と最も多く、次いで「使ってみたい」が2割強(23.5%)であった。

問4 「くらしの便利帳」の配布方法について、あなたの考えに最も近いものは次のうちどれですか。
(○は1つだけ)

(n=98)

	構成比 (%)
引き続き全世帯に配布すべき	33.7
希望する世帯にのみ配布すればよい	44.9
全世帯への配布はせず、必要な人が取り寄せる(取りに行く)	7.1
電子版で用が足りるので配布は不要	9.2
使わないので配布は不要	4.1
その他	1.0

【その他】

- ・ 基本は全世帯に配布する。ただし不要な世帯には配布しない。

「くらしの便利帳」の配布方法についての考えを聞いたところ、「希望する世帯にのみ配布すればよい」が4割台半ば(44.9%)と最も多く、次いで「引き続き全世帯に配布すべき」が3割強(33.7%)であった。

**問5 今回発行した「くらしの便利帳」を利用した感想やご意見、ご要望などをご記入ください。
(自由記述)**

(10代~20代の方のご意見・ご要望など)

- 1 重くて不便 (10代 男性 中央)
- 2 何年も住んでいる人ばかりでなく、大学なども多く、一人世帯も多いと思うので、毎年出すことで、そうした人たちが不安なく医療機関や市内のあらゆる物事を利用できると思う。自分が住むことになる土地を知らないままだと不安で、すぐに住むのをやめたいと思う。自分も住むことになる土地を知らないままだと不安で、すぐに住むのをやめたいと思う。 (20代 女性 東部)
- 3 見やすく良いと思う。 (20代 男性 東南部)
- 4 配布されたことを今回のアンケートで知ったので、もっと広めていくべき。 (20代 女性 東南部)
- 5 電子版は、お年寄りには使い勝手が難しいと思うので、図書館や市役所などの公共施設に紙版と電子版の両方を設置すれば良いと思う。 (20代 女性 中央)

(30代の方のご意見・ご要望など)

- 6 八王子ならではの1つ、高尾山ケーブルカーを表紙に採用するなど、大変身近で、八王子らしさにあふれた外観で、また、初めての試みとのことですが、受け取った側としては、大きな違和感もなく、そして素晴らしい工夫だなど、今回のアンケートにおいて、このような取り組みに至った背景を読んで思った。
「手続き」「防災マップ」について、特に関心があるので、今後より充実した内容、分かりやすい内容となっていくと良いなという期待がある。無料配布、経費節減に大きく貢献するようなタウンページとのタグは素晴らしい。ホームページでも閲覧できるとのこと。こちらでも活用したいと思っている。 (30代 女性 西部)
- 7 タウンページとの合冊となり、分厚く持ち運びも大変なため、使いづらいというイメージを持っていたが、思っていたよりもコンパクトで、使いやすいと思う。ただし、IT化による生活の変化で、今後は紙媒体よりも電子媒体を必要に応じて利用することになると思われるので、全世帯への配布に力を注ぐよりも、必要な世帯への配布を行う方が、賢明だと思う。
また、できれば、今後はハンディサイズ(A5版)の冊子にして、より持ち運びや利便性を重視した「便利帳」を目指してほしい。 (30代 男性 中央)
- 8 八王子の居住年数が浅いので、必要なときにさっと取り出して使えるし、施設の一覧があるので、今まで知らなかった施設も知ることができるのでいいと思う。 (30代 女性 中央)
- 9 わかりやすくまとまっている。 (30代 女性 西部)
- 10 「くらしの便利帳」を「タウンページ」と統合した大変素晴らしい取り組みだと思う。以前は冊子が薄かったので、他の冊子と紛れてしまい、必要なときに見つけられなかったこともあったが、今後はそのようなことはなくなると思う。「タウンページ」は表紙等が黄色なので見つけやすく、厚みもあるので紛失することが減る。今後も他企業と共同して市

- 民生活の利便性向上に取り組んでもらいたいと思う。(30代 男性 中央)
- 1 1 手もとに冊子としてあるので、インターネットで検索するよりは使い勝手がよいと思う。「こんなサービスもあったのか」と新しい発見もあった。ただ、使用頻度としては低いため、費用を広告等でまかなえたとしても、毎年配布する必要があるかは疑問である。(30代 男性 中央)
- 1 2 数年前に引っ越ししてきたときに受け取った「くらしの便利帳」の方が、必要な情報のみまとめられていて手軽で使いやすく良かった。タウンページは、ネットがこれだけ普及している今では利用する人も激減しているのではないか。何より、無駄に分厚くなって情報が探しにくいのが難点だと思う。残念ながらわが家では利用する予定がない。(30代 女性 東南部)
- 1 3 日々使うものではないので、タウンページと合冊されると保管に場所をとるうえにいざ使うときは重くて不便。(30代 男性 東南部)
- 1 4 「くらしの便利帳」を利用したいときには、本が大きく邪魔な感じがする。自分自身はホームページを利用することが多く「くらしの便利帳」はほとんど利用していない。(30代 女性 東南部)
- 1 5 処分してしまったのでわからない。「くらしの便利帳」とわかるようにしてほしい。(30代 女性 東部)
- 1 6 公共施設を調べる時、行き方や開館、閉館時間など書いてあると分かりやすい。(30代 女性 西南部)
- 1 7 配られたときは便利なので活用しようと思ったが、実際に必要な時はネットで調べてしまうと思うので、必要な人にだけ配布したほうがいいかもしれない。(30代 女性 北部)
- 1 8 特に変更がなければ、毎年じゃなくてよい。分厚い冊子なので、紙ももったいない。(30代 女性 西部)
- 1 9 使ったことはある。(30代 女性 東南部)
- 2 0 使っていないのでわからない。WEB上で公開してもらったほうが使えると思う。(30代 男性 西南部)
- 2 1 何かあったときには使うかもしれないが、ウェブで見ることができれば十分である。(30代 女性 西部)
- 2 2 タウンページだと思い、開封していなかった。このアンケートを見て、くらしの便利帳との合冊だと認識した。(30代 女性 中央)
- 2 3 まだよく読めていない。必要性を感じたとき、年明けにでも利用するつもりである。(30代 女性 西南部)
- 2 4 不審者情報、犯罪情報などの緊急性の高いものについて、インターネットを使用しない、しかし情報がきちんと届かなくてはならない子どもや高齢者に対する発信を、今後どうするか検討しなくてはならないと思う。(30代 女性 中央)

(40代の方のご意見・ご要望など)

- 2 5 今までは施設の電話番号はインターネットで調べていたので、この一冊はありがたい。そして市の歴史や様々なデータを興味深く読んだ。こういう読みものは、八王子のアピー

- ルにつながると思う。もう少し詳しく八王子のことを知りたくなった。このくらしの便利帳は大いに活用しようと思う。(40代 女性 西南部)
- 26 まだ具体的に利用はしていないが、さっと見た感じでは必要なものがまとまっていそうで、よい印象を受けた。(40代 女性 中央)
- 27 メルアドが記載されており、見やすかったように感じる。が、今はネット利用が多いため、利用する方は高齢者？などに限られると思う。(40代 女性 西南部)
- 28 町や市の広告費というのは多額だと思う。市民の見本となるように節約に努めていることを多くの市民に知ってもらうことが大切である。
一冊にまとめてもらってよかった。正直見ることはあまりないが、探すときに行政と民間の情報が一緒に見られることで手段が選べるから。(40代 女性 東部)
- 29 電話帳と一緒に、使い勝手が良い。(40代 女性 中央)
- 30 置き場が少ないので、今までのように薄い方が助かる。ネットでも充分かな？と思う。(40代 女性 中央)
- 31 電話帳への掲載なので、以前の便利帳より明らかに紙の質がペラペラで、非常にめくりにくく感じる。(40代 男性 西南部)
- 32 高齢者等の必要世帯にのみ配布すれば経費削減につながると思う。(40代 男性 西南部)
- 33 正直、今まで利用した経験がない。費用がそれほどかかっていると知り驚いた。今回の反応をみて、希望者のみの配布や有料化を検討してもいいのかもしれない。(40代 女性 西南部)
- 34 紙代や配達費の無駄。ネットで十分。ネットの充足を。(40代 男性 東部)
- 35 くらしの便利帳がタウンページと合冊になっていることを、この質問に答えていて初めて知った。それくらい周知されていない。(40代 女性 中央)
- 36 開いたことがない。使う機会がない。(40代 女性 西部)
- 37 電話帳と合冊されていることをこのアンケートで知った。
引越してきたときは、しっかり見て、情報、地理などを把握するのにとても役に立ったが、慣れてくると開く機会は少なくなった。
休日の医者やをさがすときに、子どもが小さいときは特によく使っていた。やはりあると便利だし、いざというときや困ったときがあると助かる。(40代 男性 西南部)
- 38 固定電話がないので、NTTタウンページと合冊したことを知らなかった。利用していない。電子版があるなら必要ない。(40代 女性 中央)
- 39 自宅に1冊あれば、検索し電話番号や時間など調べるのに便利。若い人は電子版を利用するかもしれない。電子版が出るという紹介をした方がよいと思う。(40代 女性 中央)
- 40 高齢者（特にネットを利用しない人）には、あった方がよいと思う。(40代 女性 中央)
- 41 利用していないのでわからない。インターネットの方を見てしまう。ただ、PCを使わない高齢者には必要だと思う。(40代 女性 西南部)

(50代の方のご意見・ご要望など)

- 42 とても役立つ情報の掲載でよいと思う。ただ少しかさばるので、もう少し手軽に利用できるサイズでもよいかとも思う。どこのページからも見やすく、すぐ開けられるように、

- インデックスのような目印があると“時短”になると思う。(50代 女性 中央)
- 4 3 ちょっとしたことを知るには便利。(50代 男性 西部)
- 4 4 これまでの“くらしの便利帳”と同様に、なんら違和感なく使えた。このような合冊でよいと思う。また、電子版も便利だと思うので、来年から活用したいと考えている。(50代 男性 西南部)
- 4 5 古い情報が見直し(更新)されていない点が気になる。例えば94ページの絹ヶ丘の歯科などはもうかなり前に転院していて無い。(50代 男性 東南部)
- 4 6 使ったことがなく、くらしの便利帳を見るなら、パソコンで調べてしまう。パソコンを使えない高齢の世帯や、希望する世帯だけでよいのではないかと思う。(50代 女性 東部)
- 4 7 いざというときに便利。継続してください。(50代 女性 中央)

(60代の方のご意見・ご要望など)

- 4 8 八王子のことがよくわかり、とてもありがたい。
特に八王子に移り住んだ人たちにとっては、相談する手段が詳しく書いてあるのもものすごく大切な本である。私としては引き続きずっと配布してほしい。
要望としては、八王子の全体の詳しい地図を載せてもらえればさらにうれしい。(60代 女性 中央)
- 4 9 合冊化され、大変合理的ですばらしい。(60代 男性 北部)
- 5 0 全体的に要点がよくまとまっていて良いと思う。
広報について。市民センター等に掲示されてはいるが、ほかのものと同じように扱われており、展示物が多いためわかりにくい。市専用の単独の掲示板であればもっとわかりやすく市民に届く。絞り込んでその月、季節に応じてチラシを掲示すると良いと思う。(60代 男性 中央)
- 5 1 家族は初めて見たようで電話帳と一緒に便利だと言っていた。(60代 女性 中央)
- 5 2 手続き関係に必要である。(60代 男性 東部)
- 5 3 前回のものは、広告が目立ち過ぎ、内容が見づらい面があったが、今回は広告がなく、すっきりしてよい。また、毎年改訂する予定であるということは、大変良いと思う。
タウンページについては、今までほとんど利用したことがなかったが、便利帳と合冊になり、見る機会も増えるのではないかと思う。(60代 男性 西南部)
- 5 4 NTTタウンページの巻頭に掲載されたことにより、使用勝手が良くなった。「くらしの便利帳」は、毎日の生活の中で、必要なときに便利である。(60代 女性 西南部)
- 5 5 タウンページとくらしの便利帳が一体になっていることは、大変良いことだと思う。今後も改良することがあったら、タウンページとともに発行してほしい。(60代 女性 西南部)
- 5 6 市にとっても、NTTにとっても大いにメリットがある。できることであれば、タイアップを継続する価値はある。(60代 男性 東南部)
- 5 7 必要なことがあるからと思い、今までも新しい物が来るまでは保存しておいたが、今回合冊して経費削減になったと聞き、こんな方法があったのだと感心した。これでいいと思う。(60代 女性 中央)

- 5 8 たまに使うが、あると便利と感じている。 (60代 男性 東部)
- 5 9 今までと同様で、問題ない。経費がかかっていないなら、なおさら良い。市の広報で、変更したことや「タウンページ」に載せていることを知らせているのか (周知しているのか)。 (60代 男性 西部)
- 6 0 キーワードからの索引があり、便利だと思う。 (60代 男性 東部)
- 6 1 1冊あればすべての情報が得られるので大変重宝している。できれば交通機関のページに八王子市内に行けるバス路線地図を入れていただけるとさらに便利になると思う。 (60代 男性 中央)
- 6 2 大変良くまとまっていると思う。今回に限らないが、転入者や弱者&成人式を迎える人には不可欠につき、希望がなくても無償配布すべき。それ以外は希望者に安価に有償配布が良いと思う。 (60代 男性 東部)
- 6 3 必要なときに参考にできて便利。 (60代 男性 北部)
- 6 4 今回の試みは大変良いと思う。また、NTTタウンページの電子版でも閲覧できるようになるとのこと、大変便利になると思う。検索機能がついていれば申し分ないが…。 (60代 男性 東部)
- 6 5 NTTタウンページと合冊した「くらしの便利帳」は、
 ①紙が薄いのでめくりづらい。
 ②紙の色が白くないので、字が読みづらい。
 ③電話帳と合冊なので、手もとに置くには重すぎる。
 ④毎年新鮮な情報発信はうれしいが、情報量が少なくなった気がする。
 以上が率直な感想である。
 「くらしの便利帳」は、八王子市民の唯一のガイドブックであり、常に手もとに置いて活用したい。ぜひ前回どおりの単独発行でお願いしたい。 (60代 女性 東部)
- 6 6 NTTとの癒着を感じる。既にタウンページは絶滅危惧種であるのにも関わらず、八王子市はNTTに便宜を計り、助けた。金額の問題に市民の目を向かせた狡猾な手段だ。 (60代 男性 東部)
- 6 7 インデックスはあるが、もう少し細かく索引を作ってほしい。探すためのキーワードがわからず、結局いろいろめくって探す羽目になる。
 外国人に日本語を教えているが、初めのページにある市役所の説明や市民センター、「引っ越してきた方へ」などは、外国人にも分かりやすいようにネットでひらがなの案内があってもいい。 (60代 女性 東南部)
- 6 8 今回初めて「くらしの便利帳」をよく見たが、便利なものであると認識した。私は何か知りたい事があると、娘に頼んでインターネットから情報を得ているが、インターネットを利用していない高齢者等にとって良い情報源ではないか。 (60代 男性 東部)
- 6 9 あまり活用しないので特に感想はない。 (60代 男性 東部)

(70代以上の方のご意見・ご要望など)

- 7 0 この間、初めて電話帳とあわせて「くらしの便利帳」が入っているのを知り、そのアイデアがすばらしいと感じ入り、まだ開封もしていなかった中身をじっくり見た。カラフル

- な写真入りで、読みやすく見やすく、とても工夫されて編集されていた。これから利用する時になって、注文の箇所も出てくるかと思うが… (70代 女性 東南部)
- 7 1 活用している。一家に一冊あれば安心。民間企業と協力する方法は良い。その他の企画も最大限に民間の力を活用する方法を開発すべきと思う。 (70代 男性 西南部)
- 7 2 暮らしの便利帳と言われ、前回のものをあちこち探したところ、立派な一冊の本が見つかった。ほとんど使っていなかった。今回はタウンページと一緒になので、探す必要はなくなった。お金もほとんどかけていないようなので、これで結構だと思う。 (70代 男性 西南部)
- 7 3 タウンページの巻頭にあり、今までどおりと使い勝手は変わらず、さらに経費が削減できるなら大変良いことだ。 (70代 男性 東南部)
- 7 4 タウンページも一緒に良かった。 (70代 男性 東南部)
- 7 5 さっとみたくらいで印象に残っていない。厚みがあるので、しまう場所にすごく困る。しかし、転入して来た時はよくみた。八王子を知りたくて。 (70代 女性 東部)
- 7 6 NTTタウンページと「暮らしの便利帳」は、作成目的が根本的に異なる。合本するのは無理で混乱を生ずる。
「暮らしの便利帳」は、広報のための手段であり、市独自の発行を続けるべきだ。合本して重くなり、紙質もわるくなって使いにくくなった。市政が遠く離れてしまった感あり。前回平成23年度発行で、市の経費をかけずに発行したのを変更する必要なし。数年おきの発行であっても何ら支障ない。行財政改革といって重箱の隅をつつついている感じがする。 (70代 男性 北部)
- 7 7 暮らしの便利帳が電話帳に載っているのを初めて知った。早速開封してみた。旧便利帳を見ていたので、これからは活用したいと思うが、分厚いし重いし、これまでのように台所に引っ掛けておくわけにもいかず少々不満である。 (70代 女性 西部)
- 7 8 手元に届いたばかりでまだ利用していない。
また、昨年一年間を振り返り、一度も利用しなかったように思う。
情報が新聞・テレビ・友人たちからなどでけっこう入手できるので、今のところ不便は感じていない。 (70代 女性 東部)
- 7 9 必要な時には思い出さないことが多く、つい市役所などに問い合わせしてしまう。 (70代 男性 北部)
- 8 0 中核市・八王子をめざして27年4月の中核市移行のため準備を始めている由。これはかなり課題があり、利便性、スピードアップが単に図れても、それによる漏れが生じないか、また条例制定の際の市民の忌憚のない声と精査の実が問われよう。慎重に取り扱いたい重要な問題である。 (80代 女性 東部)

Ⅱ 「インターネットの活用」について

市ではホームページによる情報提供のほか、本年3月からツイッターを活用し、防災情報を提供していますが、12月からは施策やイベントの周知、フォトニュースなど様々な市政情報を発信するとともに、フェイスブックの活用も開始しました。インターネットを活用した市政情報発信のあり方についてお聞かせください。

ツイッターとは、ツイートと呼ばれる140文字以内の情報を投稿・閲覧するサービスのことです。

フェイスブックとは、現実にいる知り合い同士が実名を前提にインターネット上で交流することを目的としたサービスです。

いずれも、パソコンやスマートフォン、携帯電話などインターネットを利用できる環境があれば、無料で閲覧できます。

問6 あなたのインターネット利用環境を教えてください。

(〇はいくつでも)

(n=98)

	構成比(%)
パソコン	90.8
スマートフォン	35.7
携帯電話	29.6
タブレット型端末	15.3
その他	1.0
利用していない	6.1

【その他】

- ・ インターネットTV

インターネットの利用環境について聞いたところ、「パソコン」が約9割(90.8%)と最も多く、次いで「スマートフォン」が3割台半ば(35.7%)、「携帯電話」が3割弱(29.6%)であった。

問7 次のインターネットサービスのうち、あなたが日常的にご利用されているものはどれですか。

(〇はいくつでも)

(n=98)

	構成比(%)
各種ホームページの閲覧	89.8
各種動画サイトの閲覧	37.8
フェイスブック	20.4
ツイッター	14.3
ライン (※)	13.3
その他	10.2
利用していない	8.2

※ ラインとは、スマートフォンの普及に比例して利用者が急増している「無料通話アプリ」のことです。

【その他】

- ・ メールの送受信 (2名)
- ・ パソコンだけ
- ・ 政府パブリックコメント募集への意見送信政府インターネットテレビ。衆院と参院の国会配信。
- ・ ゲーム
- ・ キーワード検索
- ・ 路線検索
- ・ ショッピング
- ・ スカイプ

インターネットサービスのうち、日常的に利用しているものについて聞いたところ、「各種ホームページの閲覧」が9割弱(89.8%)と最も多く、次いで「各種動画サイトの閲覧」が4割近く(37.8%)であった。

問8 市が実施している以下のインターネットによる情報提供サービスのうち、利用したことがあるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

(n=98)

	構成比(%)
市のホームページ	82.7
犯罪・不審者情報や防災情報のメール配信サービス	28.6
市のモバイル版(携帯電話用)ホームページ	13.3
八王子市公式ツイッター	5.1
八王子市公式フェイスブック	1.0
その他	3.1
利用したことはない	13.3

【その他】

- ・ パブリックコメント意見募集、市編さんの民俗資料の頒布について
- ・ モニター制度
- ・ 市図書館の書籍検索や予約サービス

インターネットによる市の情報提供サービスのうち、利用したことがあるものについて聞いたところ、「市のホームページ」が8割強(82.7%)と最も多く、次いで「犯罪・不審者情報や防災情報のメール配信サービス」が3割近く(28.6%)であった。

問9 「広報はちおうじ」は各世帯に配布していますが、ホームページでもPDFファイルで閲覧することができます。このPDFファイルを市民の皆さんに、より活用していただくためには、どのような工夫をすれば良いと思いますか。(○はいくつでも)

(n=98)

	構成比(%)
PDFファイルの記事を検索しやすくする	31.6
発行したことをメールで通知する	27.6
スマートフォンでも見やすいフォームを工夫する	24.5
PDFファイルの記事に関連情報のページへのリンクをはる	17.3
紙の方がわかりやすい	41.8
わからない	6.1
その他	4.1
無回答	1.0

【その他】

- ・ スマホユーザーではなく、パソコンも毎月見るわけではないので、携帯から閲覧できるの

であれば、活用すると思う。その上で、発行時のメール通知があるとより良い。

- ・ 関心のない人は、ネットでも見ないかもしれないので、配布の方が全体に浸透すると思う。
- ・ 市長が自らツイッターやフェイスブックにアカウント登録して、積極的に市民へ情報発信する中で、ホームページに誘導すれば閲覧者が増えると思う。

ホームページで公開している「広報はちおうじ」のPDFファイルをより活用してもらうための工夫について聞いたところ、「PDFファイルの記事を検索しやすくする」が3割強（31.6%）であり、次いで「発行したことをメールで通知する」が3割近く（27.6%）、「スマートフォンでも見やすいフォームを工夫する」が2割台半ば（24.5%）であった。

一方で「紙の方がわかりやすい」という回答が、4割強（41.8%）あった。

問10 今後、ツイッターやフェイスブックで知りたい市政情報はありますか。（〇はいくつでも）

(n=98)

	構成比(%)
イベント	42.9
講座	37.8
まちづくり	18.4
環境	17.3
福祉	16.3
子育て	12.2
特にない	33.7
その他	12.2
無回答	2.0

【その他】

- ・ 健康講座への参加方法・情報
- ・ 最新の消費者問題、法律問題、医療について
- ・ 選挙の立会人など
- ・ 八王子まつりや夢街道駅伝に伴う交通規制
- ・ 市長のつぶやき
- ・ パソコンがないので、ツイッターやフェイスブックを見ることはできない。
- ・ ツイッター、フェイスブックなどは経験なし。
- ・ そもそもツイッター、フェイスブックは利用しない。
- ・ 利用していないので、わからない。
- ・ ツイッターもフェイスブックも特に利用していない。利用することもあるかもしれないと、登録だけは以前していたことがあるが、その後全く必要性を感じず、利用していないので、

市政情報は知りたいが、ツイッターやフェイスブックに限定しないでほしい。

今後、ツイッターやフェイスブックで知りたい市政情報について聞いたところ、「イベント」が4割強（42.9%）と最も多く、次いで「講座」が4割近く（37.8%）であった。

問 11 インターネットを活用した市政情報の発信について、ご意見・ご要望などをご記入ください。（自由記述）

（10代～20代の方のご意見・ご要望など）

- 1 若者向けの情報発信の強化。 (10代 男性 中央)
- 2 もっと市民が利用しやすくするようにアピールしていくべき。 (20代 女性 東南部)
- 3 年々増加しているスマートフォンユーザーにとって、インターネット活用は日常的なものとなっている。「くらしの便利帳」の閲覧や市政情報をネット上で入手できるのであれば、紙のものは必要ないのではないか。ただ、スマートフォンを持たない高齢者にとっては従来の便利帳や広報紙が必要だと思う。希望する世帯にのみ配布が良いと思う。 (20代 女性 北部)
- 4 とても良いと思う。 (20代 男性 東南部)
- 5 インターネットを普及させることで、紙を使用する際の経費の削減になると思う。その浮いた経費を学童や小学校の補助や奨学金に活用すれば良いと思う。 (20代 女性 中央)
- 6 ツイッターとかフェイスブックでの広報活動は、ぶっちゃけ困る。あんまりアカウントを持ちたくないけど(個人情報を守られないので)、情報をあのような場で更新する企業や団体が多いので、そのためにアカウントを持っているが、そうやって持っているのを知った他人からの個人情報の流出で困っているので、特にフェイスブック、ツイッターでの情報を更新するのをやめてほしい。 (20代 女性 東部)

（30代の方のご意見・ご要望など）

- 7 基本的に紙媒体のほうが見やすく、分かりやすく、また、カラーになってより見やすく、読んでみようという気にもなった(コストが心配であるが)。いつでも確認できるので、便利で使いやすいが、それでも大抵は内容をチェックした後は処分してしまう。制作にコストがかかることも気になるので、そういった意味では、インターネットの活用は良いと思う。
ただ、いつでもPCを見るわけではなく、スマホユーザーでもなく、フェイスブックやツイッターも利用しないので、誰もが垣根なく利用できる環境であってほしい。
また、高齢者は、そもそもインターネット環境のない方もいると思うので、そこをどう考えているのか教えてほしい。前回のアンケート結果などでも、情報の取得ができない場合の不安を感じている高齢者の意見が見受けられたので心配である。 (30代 女性 西部)

- 8 インターネットはめんどくさいところがある。(30代 女性 東南部)
- 9 市のホームページを分かりやすくしてもらえれば、十分だ。(30代 女性 西部)
- 10 仕事や子育てなど、多忙のため、なかなかインターネットも開けられない。そのため、重要事項などは、重要と記しメール配信してもらおうと助かる。ツイッターやフェイスブックでの市政情報の提供として、イベント、福祉、子育てなどの必要事項のみ登録すると情報送信されるシステムがあると便利かと思う。(30代 女性 中央)
- 11 アクセス環境の差により、不平等が生じないよう配慮が必要。でも、ごみ減量につながると思う。(30代 女性 西部)
- 12 スマホの普及で受信しやすくなるので必要だと思うが、ネットが苦手な人もいるので、ネットにばかり力を入れるのは賛成できない。どちらかという苦手な人ほど市政情報を必要としている気がする。(30代 女性 中央)
- 13 既存メディアも積極的に活用してメディアミックスで各年齢層に情報発信するべきだと思う。既存メディアへの情報発信が少ないと思うし下手だと思う。(30代 男性 中央)
- 14 インターネットは便利だと思うが、セキュリティなどの問題もあると思うので、運用に注意をしてもらいたい。(30代 女性 東南部)
- 15 インターネットを活用した広報活動は不可欠であり、今後も積極的に情報を発信してもらいたいと思っている。(30代 男性 中央)
- 16 以前、子育て広場か何かのリンク先をクリックしたら、関係のないページ(サイト)へリンクしてしまった。きちんと確認してホームページを作成しているのか、ウイルス感染していないか心配になった。(現在はきちんとしているのかわからないが…)
(30代 女性 東部)
- 17 市のホームページに、もっと市政情報を公開してほしい。見たいときにどこで見ればよいかわからない。(30代 女性 西南部)
- 18 普段必要なことがなければ八王子市のホームページを見ないので、メルマガとかあれば少しは興味が出るかもしれない。(30代 女性 北部)
- 19 ホームページの検索が使いにくく、なかなか必要なページにたどり着けない。(30代 女性 西部)
- 20 ホームページ等も、もう少しオリジナリティのある内容でもよいと思う。現状は少し堅苦しいイメージで、市民に興味を持ってもらえるような工夫が必要かと思う。
(30代 男性 中央)
- 21 現代では必要不可欠となってきたが、ネットやツイッター、フェイスブックなど、同じ情報が数種類の媒体を通して発信されると、どこかで誤った情報に逸れてしまう危険もあるのではないかと感じる。また、ネット環境は必須でも、老若男女すべてが情報を得るためには、やはり紙媒体での重要情報提供は併せて必要だと思う。(30代 女性 東南部)
- 22 掲示されていることがわからないので、ツイッターやライン等によるプッシュ配信を希望する。(30代 男性 西南部)
- 23 フェイスブックやツイッターは流れている情報が膨大で、埋もれてしまう可能性が高く、あまり有用とは思えない。メールで最低限必要な情報と、詳細はリンクを載せる工夫をした方がよいと思う。(30代 男性 東南部)

- 24 フェイスブックやツイッターの利用は、最新情報の入手をする点ではとても優れていて、良いと思う。ただし、市政に関心がなければ、アクセスすることはないと思われるため、今後も広報活動のあり方について、常に庁内での検討が必要だと思う。また、ツイッターでは、少々の言葉遣いでトラブルが発生することや不正アクセスによる情報改ざんなどが起こりうるため、民間企業の場合には、リスクマネジメントへの配慮をより慎重に行っている現実がある。SNSは、身近な行政のPRにはとても良い手段ではあるが、利用のしやすさと高度のリスクマネジメントの必要性を両面に持っている道具だと思う。最先端の高度技術の利用について、今後とも研究に努められるとともに、今後も、SNSの利用に対する市民の反応等を調査研究し、有効な広報活動のあり方を追求していただきたい。
(30代 男性 中央)
- 25 インターネットは便利だが、「広報はちおうじ」のように紙で見の方が目が疲れないで良いと思う。
(30代 女性 東部)
- 26 インターネット環境にない人には、無縁のこと。紙面の大切さも理解して欲しい。
(30代 女性 西部)
- 27 ツイッターでの市政情報は、もっと活性化されたら便利だと思う反面、匿名性が強いことから、言われのない誹謗中傷もあり得ることも考えられるため、市政情報に関しては、今までどおり、広報紙での情報発信が良いと思う。
(30代 女性 中央)

(40代の方のご意見・ご要望など)

- 28 高齢者などインターネットに馴染みのない、全く使えないという方のことを考えると、インターネットにアップしたらすべてOKみたいには、なってほしくない。
必要な人が、情報を得るためにネットを活用できるように、提供するコンテンツが多くなっていくのは賛成である。
(40代 女性 中央)
- 29 インターネットを利用できない環境の人もいるので、紙面の情報と同等でいてほしい。
(40代 女性 中央)
- 30 これだけインターネットが普及したのだから、インターネット版を主体にしたらよいと思う。ただしメールで配信したことを知らせてほしい。
(40代 男性 西南部)
- 31 個人的には今のままで不便はないが、よりよくしていただけるのであれば、その方が有難い。
(40代 女性 西南部)
- 32 ネットで見るときは「今週何か催事があるかな？」というとき。今日、明日、来週くらいの近い予定が見やすく表示されているとうれしい。
(40代 女性 東部)
- 33 いつでも手軽に情報を得ることができるので、充実させてほしい。
(40代 女性 中央)
- 34 以前は利用しにくかった市のホームページだが、今は利用しやすくなった。市の出版物の情報は相変わらず分かりにくいので、分かりやすくしてほしい。なぜ市の歴史資料が「市政情報」のカテゴリにリンクされているのだろうか。
(40代 女性 西南部)
- 35 市のホームページは出張所の開館時間をはじめ、学校、子ども関係、福祉関係などで活用しており、他市のホームページと比べても使い勝手は、ほぼ満足している。見たいページや情報にもたどり着きやすい印象がある。
(40代 男性 西南部)
- 36 たまに使わせてもらおうが、何だか今…、見ていて楽しくないし、結局他を見てしまうこ

- とが多い。花火でも祭り系でも、もっと写真やイラスト等(子ども達が見る世の中なので)、楽しめた方が良くと思う。ちょっとかたい?感じがする。(40代 女性 西南部)
- 37 見やすいホームページ、分かりやすいリンクの作成を期待している。(40代 男性 東南部)
- 38 あまり市のホームページを見たことがないが、公園を使うときに見ると分かりにくい。(40代 男性 東部)
- 39 ツイッターやフェイスブックでの市政情報の提供(イベント、福祉、子育て、環境ほか)は、月ごとに発信してほしい。環境では、花粉やPM2.5の数値を知らせてほしい。(40代 女性 中央)
- 40 若い世代ほど、ツイッターやラインなど、ネットを利用する傾向があるので、行政に関わるものは、どんどん情報公開することには賛成である。(40代 女性 西南部)
- 41 インターネットによる市政情報の発信は、ホームページ、フェイスブック、ツイッターで行っているのであれば、現在は十分だと思う。あとはラインですればいいかと思う。きっとまた新しいツールができると思うが、そのときに、また考えればいいことだ。(40代 女性 中央)
- 42 若い世代や中高年は良いだろうが、八王子も高齢者の方が多く見受けられる。インターネットだけには絞れない。(40代 女性 西部)

(50代の方のご意見・ご要望など)

- 43 季節ネタ。例えば今日の高尾山を画像化し、紅葉の様子を示すことで出かける判断になると思う。(50代 男性 東南部)
- 44 個人的には、健診の申し込みにもネットを利用することもあるが、他の事柄で検索する頻度はそれ程ない。若者も関心があれば利用するだろうが、そうでなければあまり変わらないかもしれない。必要性や意識のあり方によると思う。ただ、緊急性の高い災害時の活用は高いと思うので、高齢者にも(全年齢層に)活用できるような環境態勢が必要だと思う。(50代 女性 中央)
- 45 突然の気候変化時の市内の様子、河川の様子を動画で流してほしい。(50代 男性 中央)
- 46 どんどん活用してほしい。(50代 女性 中央)
- 47 市民が日常集まりそうな場所(スーパー、図書館、集会所など)にインターネットで市政情報を確認できる環境を増やしたらどうか。また、パソコンを苦手とする市民にも操作方法をアドバイスする機会を多く設ける必要があると思う。(50代 男性 西南部)
- 48 広報は届いたら見るが、積極的にネットを使って見ようとは思わない。ありきたりの内容でつまらないというか…、何か面白い企画などがあれば見るかもしれない。(50代 女性 東部)
- 49 見やすいものを作ってほしい。(50代 女性 西南部)
- 50 情報検索がしづらいように感じる。(50代 男性 西部)

(60代の方のご意見・ご要望など)

- 51 活用する予定はない。(60代 女性 中央)

- 5 2 もっと公共の施設にパソコンがあれば市民は利用しやすいと思う。
図書館、市民センター等にパソコンを置くと情報の発信が広がるし、行政の意図する趣旨が多くの人にわかってもらえる。(60代 男性 中央)
- 5 3 インターネットの普及が高まっている昨今、市政情報も大いに発信してほしい。八王子市の広さをネットがカバーし、より市内全体を身近に感じられたらよいと思う。ただ、ネットの活用が苦手な方たちにも分かりやすい情報提供をお願いする。(60代 女性 東部)
- 5 4 インターネットを利用する世代が増えてきて、理想的にはインターネットによる「広報はちおうじ」を発信すれば、印刷代等の経費の削減につながると思う。しかし、高齢者層を中心にインターネットを使えない人々も多いことから、そこら辺の現状を踏まえた情報発信をしてほしい。(60代 男性 東部)
- 5 5 我が家にはパソコンはなく、インターネットを活用することはできない。
(60代 女性 西南部)
- 5 6 現代社会において、ネット利用の人々の増加に伴い、市政情報の発信もますますネットを利用して市民に周知してほしいと思う。特に若い人達は、紙による市政情報の発信には読む人も少なくなりつつあるので、ネットを利用して発信してほしい。
(60代 女性 西南部)
- 5 7 インターネットの活用は常態化していて、推進すべき施策と考える。しかし、このサービスを受けられない市民（パソコン未所有者、操作のできない市民）への情報発信には、どのように対応していくのか、しっかりと検討してほしい。市民の情報格差（不平等）が生じてはならない。(60代 女性 東部)
- 5 8 あまりインターネットでの活用をしていないのでわからない。(60代 男性 東部)
- 5 9 現在まで閲覧する必要はなかった。必要ができれば、活用したい。(60代 男性 東南部)
- 6 0 利用できない方々もいると思うが、これからは益々充実させていく必要があると思う。
(60代 女性 中央)
- 6 1 大いに活用していくべきだ。ただし、その環境にない方への配慮も必要だ。
(60代 男性 西部)
- 6 2 市政情報のインターネットの発信はベストと考えている。ただし、ネット社会と言われてもまだまだ利用が不十分であり、ネットを利用できない市民がいる。(60代 男性 中央)
- 6 3 インターネットによる市政情報の発信の内容を、広く市民に知らせることが必要。
(60代 男性 北部)
- 6 4 インターネットを活用した市政情報の発信は、大賛成である。ただ、高齢者のインターネット教育が重要となる。木目細かい教育が必要かと思う。ボランティアを募り、町内会・自治会の会合に参加するなどして、少しずつ教育していくしかないと思う。
(60代 男性 東部)
- 6 5 ホームページに更新情報を載せる。今のところは紙の広報紙の方が気軽に見られる。
(60代 男性 西部)
- 6 6 市のホームページをより使いやすく、分かりやすく、詳しい情報提供を望む。
(60代 男性 東部)
- 6 7 講座などを検索したとき、どこの部署に入るのか分かりにくいことがあった。

- (60代 女性 東南部)
- 68 市のツイッターやフェイスブックは知らなかった。若い人たちにはパソコン、スマホが便利だと思うが、私たちの世代では今までのような情報発信の方が良いと思う。町内でもホームページをやっているが何人の人が見ているか…。他の人は多分見ていない方が多いと思う。(60代 女性 中央)
- 69 高齢者で所有していない人がいることを知ること。紙面も必要である。(60代 男性 東部)
- 70 機器操作の不慣れな高齢者等を考えると、紙ベースでの情報発信も必要である。(60代 男性 西南部)
- 71 私自身はパソコンを利用するが、周りにはそうじゃない人もいる。そのような人にこそ市政情報を身近に知ってもらう必要がある。時代の流れだけで切り捨てずに、辛抱強く紙媒体をベースにした発信も是非よろしく願います。(60代 男性 東部)
- 72 インターネットで情報を発信しても、実際にその情報を入手できる人が遍在するだけで、多くの人に通知するものにならない。積極的に情報を入手しようとしなければならないのがインターネットであるので、印刷ものも必要だと思う。インターネットで発信するときは、毎日発信して常に新しい情報を載せるメンテナンスが必要である。(60代 男性 中央)

(70代以上の方のご意見・ご要望など)

- 73 インターネットを全く活用できないので、理解できない身では意見・要望も浮かんでこない。(70代 女性 東南部)
- 74 情報発信手段としてインターネットを活用する家族は、明確に家族構成の内容によって区分されると思う。即ち、家族に若い者がいるところは、インターネット活用、老人一人暮らし、or 老人二人暮らしの家族は活用しないと思う。活用していても範囲は狭いと思う。家族構成により、分類すれば結果が出ると思う。(70代 男性 西南部)
- 75 パソコンを持っていないので、意見・要望は書きようがない。今は持っている人の方が多いと思われるが、市では持っている人の数は、ある程度つかんでいるのか。そこが知りたい。(70代 男性 西南部)
- 76 イベント情報（市民センター、支所 駅前の献血 放射線通り）(70代 女性 西部)
- 77 知りたい情報を容易には得られないことがある。得られない情報であることの表示も必要だと思う。(70代 男性 東南部)
- 78 携帯電話（各社）、スマートフォンで、簡単に市政情報にたどりつけるアプリ。ひらき方の講習、チラシによる方法で。(70代 女性 東部)
- 79 インターネットの活用が自由にできないので、今までどおり広報はちおうじで充分。(70代 女性 東部)
- 80 インターネットを利用しない市民が、相当数存在することを忘れないでほしい。広報は、公平に全世帯に周知させる目的があり、あくまで「紙」媒体で行うべきである。インターネットは、補助的手段であることを忘れないこと。(70代 男性 北部)
- 81 廃棄物処理法、管理法等も載せてもらおうと、よく変更があるので便利で早く市民に伝達できる。(80代 女性 東部)

テーマ3 「市政モニター制度」について

総合経営部 広聴課

市では、様々な手法で市民の皆さんからご意見やご要望等をお聞きし、市政に反映させることで、市民と行政との協働のまちづくりを推進しており、「市政モニター制度」もその手法の一つです。

今年度、ご協力いただいた「市政モニター制度」のアンケート調査について、皆さんにお聞きし、今後の事業運営の参考とさせていただきます。

問1 「市政モニター制度」を何でお知りになりましたか。 (〇は1つだけ)

(n=98)

	構成比 (%)
広報はちおうじ	69.4
市ホームページ	18.4
ポスター・チラシ	6.1
その他	6.1

【その他】

- ・ 市役所内にあるチラシと広報
- ・ 市役所においてあったチラシ
- ・ 東浅川保健福祉センターにて、展示、チラシ
- ・ 知人
- ・ 紹介

「市政モニター制度」を何で知ったかを聞いたところ、「広報はちおうじ」が7割弱(69.4%)と最も多く、次いで「市ホームページ」が2割近く(18.4%)であった。

問2 「市政モニター制度」のアンケート調査1回あたりのテーマ数(今回は「生物多様性の保全」「広報活動」「市政モニター制度」の3つ)について、どのくらいが適当だと考えますか。

(〇は1つだけ)

(n=98)

	構成比 (%)
1つのテーマに絞った方がよい	20.4
2～3テーマがよい	64.3
4～5テーマがよい	8.2
その他	6.1
未回答	1.0

【その他】

- ・ それぞれのテーマのボリュームによる。今回は3つでも大丈夫な程度と思うが、やはり3つが限度だと思う。
- ・ いくら多くても良い。市民の意見を活用すべきと思う。
- ・ 冊子にまとめたり、データ処理は数がありすぎると複雑になりやすくなると思うが、必要があれば数が多くても仕方がないと思う。
- ・ 毎年度、市政の重点課題への取り組みの深さにより、テーマ数を変化させると有効だと思う。
- ・ 市の運営に従い、テーマの数はばらつきがあっても構わないと思う。市政モニターに応募した方は、少なくともお役に立てればとの思いがあると思う。
- ・ テーマ数はこだわらない。本当に必要なアンケートテーマを厳選して選定すべき。

アンケート調査1回あたりのテーマ数は、いくつくらいが適当か聞いたところ、「2～3テーマがよい」が6割台半ば（64.3%）と最も多く、次いで「1つのテーマに絞った方がよい」が約2割（20.4%）であった。

問3 1つのテーマあたりの設問数について、どのくらいが適当だと考えますか。（○は1つだけ）

(n=98)

	構成比 (%)
現行どおりでよい (10問程度)	76.5
もっと多くてもよい (15問以上)	10.2
もっと少ないほうがよい	5.1
その他	8.2

【その他】

- ・ テーマの内容による。
- ・ 市の裁量による。
- ・ 必要に応じてやるべきだと思う。
- ・ 市として力を入れている施策であり、市民感覚の反映が極めて重要な施策については、より、設問数をさくなどして、メリハリ付けを行ってほしい。また、選択式と自由記述式の設問の置き方についても、過去のアンケート実施結果を踏まえて、今後役立ててほしい。
- ・ 市の運営に従い、設問数はばらつきがあっても構わないと思う。
- ・ テーマによって真に必要な設問をすべき。数ではなく内容が重要。多くても少なくともよい。
- ・ 選択肢を作っておくと真意が受け取れないことがある。あるいは、本気に考えていないで、

ただ、数字だけ適当に選んで終わりという人もいるかもしれない。記入式を多く取る必要があると思う。ただ、ある程度の選択肢を選ばせてからのコメント記入でないとアンケートが続かないこともあるので、うまくリードしてもらいたい。

1テーマあたりの設問数は、何問くらいが適当か聞いたところ、「現行どおりでよい（10問程度）」が8割近く（76.5%）と最も多く、次いで「もっと多くてもよい（15問以上）」が約1割（10.2%）であった。

問4 市政モニター制度への参加を機に、来年度以降も市政に参加してみたいと思う活動があれば○をつけてください。 **（○はいくつでも）**

(n=98)

	構成比 (%)
各種アンケート調査	72.4
市内の公共施設や特徴的な施設（大学や工場など）の見学会	52.0
パブリックコメント（計画や条例案などへの意見募集）	32.7
市長との意見交換会	30.6
市職員との意見交換会	27.6
個別事業における各種説明会	24.5
審議会等の市民委員への就任	24.5
参加市民同士（例：モニター同士）の意見交換会	20.4
市職員が講師をする市政全般の研修会	17.3
その他	1.0
参加したいと思う活動はない	0.0

【その他】

- ・ 教育関係者の意見や考えを聞く機会を増やしてほしい。

市政モニター制度への参加を機に、来年度以降、市政に参加してみたいと思う活動があるか聞いたところ、「各種アンケート調査」が7割強（72.4%）と最も多く、次いで「市内の公共施設や特徴的な施設の見学会」が5割強（52.0%）であった。

(問4で参加したい活動があると回答した方に)

問4-1 市では市民が参加する事業を実施する際は、「広報はちおうじ」やホームページ等で広くお知らせしています。今後、市からモニターの皆様に参加をお願いしたい事業があった際に、お知らせしてもよろしいでしょうか。あなたの考えをお聞かせください。

(○は1つのみ)

(n=98)

	構成比 (%)
募集の際は、電話やメールで個別に連絡をしてもらっても構わない	54.1
募集案内の送付のみなら可	42.9
市政モニター任期終了後の連絡は不要	1.0
その他	1.0
未回答	1.0

【その他】

- ・ 事業と一言と言っても内容による。
- ・ メールなら個別に連絡してもらっても構わない。(3名)

問4で参加してみたい活動があるとお答えの方(全員があると回答)に、市からお知らせをしても良いか聞いたところ、「募集の際は、電話やメールで個別に連絡をしてもらっても構わない」が5割台半ば(54.1%)と最も多く、次いで「募集案内の送付のみなら可」が4割強(42.9%)であった。

問5 今後、市政モニター制度であなたが取り上げた方が良いと思う施策を次から3つまで選んでください。

下記の施策は、2022年までの市の基本構想・基本計画を定めた「八王子ビジョン2022」に掲げた49施策です。

(n=98)

	構成比 (%)		構成比 (%)
高齢者への支援	20.4	安全・快適な道路環境の整備	5.1
地域コミュニティの活性化	16.3	健康の維持・増進	4.1
子育て・子育て支援の充実	16.3	地域とつながる学校づくり	4.1
防災体制の充実	13.3	多様な文化交流の推進	4.1
災害に強いまちづくり	11.2	都市間交通網の整備促進	4.1
市民がつながる生涯学習	11.2	積極的な市政情報の発信	3.1
市民サービスの向上	10.2	持続可能な行財政運営	3.1
防犯体制の充実	9.2	一人ひとりが尊重される地域社会の構築	3.1
市民と行政の協働	8.2	公共交通の充実	3.1
暮らしの相談・支援の充実	8.2	新産業の創出	3.1
地域で子どもを育てる環境づくり	8.2	環境保全活動の推進	3.1
にぎわいにつながる産業の振興	8.2	地球温暖化対策の推進	3.1
人材の育成と活用	7.1	循環型社会の構築	3.1
社会保障制度の適正な運用	7.1	健全な水循環の再生	3.1
人とひととが支えあう 地域福祉の推進	7.1	地方分権の推進	2.0
障害者への支援	7.1	就労環境の整備	2.0
誰もが楽しめる生涯スポーツ・レクリエーション	7.1	高度な技術の集積を活かした産業振興	2.0
計画的なまちづくり	7.1	地域資源を活用する産業の振興	2.0
生きる力を育む学校教育	6.1	豊かな心を育む市民文化の振興	1.0
学びやすい教育環境づくり	6.1	企業支援	1.0
市民が誇れる歴史と伝統文化の継承	6.1	環境を守るための意識の醸成	1.0
豊かなみどりの保全と活用	6.1	保健衛生の充実	0.0
安全で良好な生活環境の保全	6.1	産業振興の体制強化	0.0
地域医療の充実	5.1	その他（具体的に）	4.1
誰もが快適なまちづくり	5.1	特になし	1.0
交通環境の充実	5.1		

【その他】

- ・ 在日外国人への過度な優遇、生保支給は見直すべき。年金を納めず、福祉給付金のような名を変えた年金を受け取っている在日外国人はずるいと思う。調べれば調べるほど、日本人はひどい搾取をされていると知り、立腹せずにはいられない。許せない。
- ・ 八王子の観光 PR 発案とまちづくり。
- ・ 各年度において、市としての重点テーマを決めた上で、施策に対するモニターへのアンケート調査を行うことが望ましいと思う。

今後、市政モニター制度で取り上げた方が良いと思う施策について聞いたところ、「高齢者への支援」が約2割（20.4%）と最も多く、「地域コミュニティの活性化」と「子育て・子育て支援の充実」が共に2割近く（16.3%）、「防災体制の充実」が1割強（13.3%）で続いている。

問6 市政モニター制度についてのご意見・ご提案などをご記入ください。

（自由記述）

感想等

- 1 八王子のより良い街づくりのためのサポーターとして、これからも続けていきたい。
(50代 男性 東南部)
- 2 市政について市民から広く意見を聞くモニター制度は、今後もぜひ続けてほしい。質問をされることで、市政や地域の課題、問題を振り返り、勉強するよいきっかけになった。八王子のためにさらに貢献していきたいという思いが強くなった。可能であれば、各部局でも個別にモニター制度を取り入れてもいいのではないかと思う。(40代 男性 西南部)
- 3 今回、モニターに参加して、市の色々なことがわかり、モニターの意見も町中に使われているようで良いと思った。(60代 女性 中央)
- 4 市政モニター制度というのを知らなかったもので、モニターになれて、市は思ったよりもいろいろなことに取り組んでいて勉強になった。(30代 女性 東部)
- 5 微力ながら、貢献できたのであれば幸いである。(30代 女性 西部)
- 6 八王子市は広く、各種催しなどに参加しづらく、市政に関しての協力なども、気持ちはあっても行動につながらなかった。
行動の一つにモニターもありかと今回参加したのだが、1回目、2回目のテーマや質問内容には、残念ながら期待はずれであった。モニターに対する質問に重みがなく、市としてどう生かそうとしているかが見えなかった。参加に真剣に取り組む市民をしっかりと利用して、「やって良かった！」と思える制度内容にしていきたい。(60代 女性 東部)
- 7 3年間市政モニターをやっており、アンケート調査には真剣に取り組んできたつもりである。また、アンケート結果についてみると、いろいろな意見があり、大変勉強になり、有意義であった。現在は、年3回の調査であるが、必要であれば若干回数を増やし、我々の意見を聞いてもらうこともやぶさかではない。(60代 男性 西南部)

- 8 モニターになって、市政により関心を持つようになった。広報をはじめ、出版物もしっかり読むようになった。だからモニターに選ばれて感謝している。
一つ言わせてもらいたい。私は回答を提出するのが遅いので、いつも催促のハガキもらっている。締め切りギリギリになった時は電話まで来た。係りの気持ちはわかるが、こちらにも忘れていたわけではない。よりよい回答をするため、調べものに時間がかかる時もある。過度の気遣いは不要と思う。(70代 男性 西南部)
- 9 今のままでよい。(60代 男性 東部)
- 10 自分の反省として、市政への関心が高くないと思う。なぜか、と問う時、市の政策に斬新さがないことではないか。モニターとして、新提案する心意気がなかったと反省する。(60代 男性 東南部)
- 11 役に立たない意見かもしれないが、一人の意見を取り上げていただき、ありがたい。八王子に住み約40年でずいぶん変わった。ますますの繁栄を期待する。(50代 男性 中央)
- 12 回数や質問数など、気軽に参加することができ、満足している。市政モニター制度をすることで、市に対して興味・関心が持て、とても良い制度だと感じている。(30代 女性 中央)
- 13 テーマについて考え直すよいきっかけとなった。(40代 女性 中央)
- 14 この制度を通して、八王子の市側にも参加している思いがあって、あるいはこんな活動もあるのかという発見もあって勉強になった。今後も周りの知り合いや、外国の方の意見もモニターに反映させたい。(60代 女性 東南部)
- 15 市政モニター制度において、市に自分の意見が反映されていると感じ、とても誇らしく思う。(20代 女性 中央)

本制度の意義

- 16 この制度は市政のためには必要である。(60代 男性 東部)
- 17 市政モニター制度は、市民が直接意見を述べることのできる数少ないチャンスの一つである。今後もこの制度を続けていってほしいと思う。(60代 男性 東部)
- 18 市政に対する市民の意見・提案等については、市民から選ばれた市議会議員から間接的に発信する方法と、今回のような市政モニター制度による直接的な発信方法があると思う。
自分自身、市民がより豊かな環境で暮らせるようになるため、市民モニター制度は非常に良い市民個人の情報発信の場と考える。(60代 男性 東部)
- 19 市政モニター制度は必要だと思う。私達の小さな声が届き、市政に反映されれば、共に協力して、より良き八王子になると思う。(60代 女性 西南部)
- 20 市政モニターの必要性は、少子高齢化などの社会や経済の環境変化の中で、人間関係の希薄化などの問題が生まれ、住民主体の自律的な再生への取り組みも拡大している。
行政と住民とが、共に市の行政について考え、意見を述べることは大変意義のあることと思っている。(60代 女性 西南部)
- 21 市民の声を伝える方法として、モニター制度は有効と思える。市側にとってだけでなく、モニターになって自分の町を理解でき、関心を持ってさらに親しみも湧いて、多くの人が経験して、よりよい市政に貢献できたらと思う。(70代 女性 東南部)

- 2 2 少数でも客観的な市民の意見は必要。年代毎、性別毎に人数を増やし、広く意見を募るのもよい。(40代 女性 中央)
- 2 3 例えば、会議に出席したり、市長との対話は、正直緊張したり、遠慮し、自由な発言をしにくい時もあると思うので、この制度は大変意見や考えを率直に述べやすいのでよいと思う。又、冊子を通して、様々な人の考え、案に触れられるので興味深い。市政を市民(正にその現場にいる)と共に改善し、取り組む(一方的でなく、共有した取り組み)ことができる方向性につながるので、とてもよいと思う。自分自身も市政に以前より関心を持てるようになった。(50代 女性 中央)
- 2 4 市民の声を直接聞いてもらえる制度ということで非常に有用だと思う。施策について「これから」のものがほとんどであるが、実施済みの施策についての意見も聞き入れてもらえる機会をより多く設けてもらいたい。(30代 男性 東南部)
- 2 5 良い制度だと思う。(30代 女性 西部)
- 2 6 関心を持って暮らしている人からの意見は耳を傾けた方がよいと思うので、継続を希望する。(60代 女性 中央)
- 2 7 身近な問題だけでなく、知らないことについても意見を問われることもあるので、難しいが、市政の問題が自分たちの暮らしに直結してくるので、考えるよい機会になっている。(30代 女性 中央)
- 2 8 自由に意見を述べる制度は、貴重で民主主義の原点だと思う。この制度の継続を望む。(60代 男性 西部)
- 2 9 市当局の皆さんが市民の声を聞く機会を幾つか準備してくれていることに敬意を表する。その一つにこのモニター制度があるが、①比較的広範囲なテーマを取り上げている、②設問が適格な分、回答も明瞭(のはず)、③周囲の目を意識せずに正直な意見を出せる、④結果的には回答者に市政について真剣に考えてもらう効果がある、など非常に有益なやり方だと思う。担当の方には負担をかけているとは思いますが、是非続けていただきたい。なお、蛇足ながら、メールではなくウェブ集計にすれば工数も削減できるはずで、この面では改善の余地があるような気もする。(60代 男性 東部)
- 3 0 市に関心を持つのに必要と思っている。広報も隅から隅まで見るようになった。(40代 女性 東部)
- 3 1 市政への発信をすることは、同時に自分自身がどう市政に関わっていくかということでもあると思う。なんでもお任せするのではなく、自分たちの八王子市について、責任を持った市民とならなくてはいけないと考える。
モニターをするということが、結果的に市民が市政に対し、どう関わるのかということを考えるきっかけになると思う。市議会の傍聴や、意見交換会に参加するよりはハードルが低く、しかし考えなしには答えることができないので、とてもいい制度だと思う。いいきっかけを与えていただき感謝する。(30代 女性 西部)
- 3 2 市政モニター制度は、多数の市民の生の声を平等に聞くことができる、とても良い制度だと思う。また、市と市民との間のコミュニケーションの手段としても適していると思う。(50代 男性 西南部)

モニター同士の交流の機会を

- 3 3 今回市政モニターをやらせてもらい大変感謝している。
いつもアンケートのみの参加なのであまり実感がわからない。年に一度くらいは出席できる人が集う交歓会とかがあれば実感がわき、自覚が持ててうれしいのだが。
(60代 女性 中央)
- 3 4 このような仕組みは重要だと思うが、できればフェイス・トゥ・フェイスで詳しく話を
する場があった方が良くと思う。特に昼間いないサラリーマン等は参加したくてもでき
ない、意見を言いたくてもあまり積極的に言えないのではないか。(30代 男性 西南部)
- 3 5 市政モニターが集まれる算段をして、他の方がどんな思いを持つのか知りたいのと、市
政にどのように関わられるかの話し合いがしたいと思う。(60代 男性 東部)
- 3 6 ・地域ごとのモニター同士の交流会。
・市政モニターのネット上の交流スペースの確保。(40代 男性 東部)
- 3 7 広大な市域を持つ八王子市は、各地区によって抱えている問題や事情も異なる。モニタ
ーは、地区と年代にバラつきがないように配置されており、各地区の事情がモニターとい
う立場になって初めてわかったところが多く、今後もこの制度は続けてほしいと思う。
できたら、その年度のモニターさんとの意見交換会のようなものを年1回でいいので、
行ってもらえたらいいと思う。ただ、市も財政的に楽ではないことは承知しているつもり
なので、例えば、モニター報酬1回分をもらう代わりに、市役所の会議室を使わせてもら
う、あるいは、総合事務所のロビーを貸してもらうなど、なるべく費用負担がかからない
形で実現できたら、モニターさん同士はもちろん、市職員とも交流ができ、市政への理解
がさらに深まると思うのだが…。(40代 男性 西南部)
- 3 8 市政モニターの制度には大賛成である。幅広い年代の市民から様々な意見が聴けるのは
貴重であり、特に市政モニターに応募するような人は八王子が大好きで、市の政策にも非
常に興味がある方がほとんどだと思う。メールでのアンケートの提出のほかにも、例えば
市が主催するイベントにモニターが参加してレポートを提出するといったやり方や、ある
テーマについてモニター同士でディスカッションする方法もあると思う。
八王子をよりよい街にしたいという願いを持っている市民を、もっと活用していただ
ければと思う。(30代 男性 中央)

結果の活用

- 3 9 アンケート結果を見ると、皆さんの考え方がわかりやすい。ただ一度目を通すとたい
い人は捨ててしまうと思う。配付の他に打つ手があれば。(40代 女性 西部)
- 4 0 アンケート結果で必要なもの(身近で緊急なもの)は広報に取り上げ、一般の人たち
に知ってもらえるのもいいのでは。アンケート結果の活用性を聞きたい。(70代 女性 東部)
- 4 1 この制度がどの程度市政に役立っているのかが不明だ。役立った例を発表願いたい。
(60代 男性 北部)
- 4 2 質問をされることによって、八王子をより知ることがあるのが面白い。
アンケート結果の他の方の回答を読むのも楽しみなのだが、そのアンケート結果を受け
て、何か市政に活かされたのかまでわかるとよいと思う。(40代 女性 中央)

- 4 3 市政モニター制度を通じて、自身の意見を取り上げてもらう機会が増え感謝している。きちんと届いているのだなという実感があるので、効果や達成感、満足感といったものを感じる。また、市が何を知りたいと思っているのか、何を考えているのかも知る機会となるため、良い制度だと感じている。ただ、それがその後どういった形で実行されていっているのか、そういったことがまだ目に見えにくいところもあるので、すぐに全部という訳にはいかないと思うが、広報はちおうじなどを通じてでも、何らかの形で市民に還元、共有、情報提供がされていけば良いと思う。その第一歩として、市政モニター制度は、市民と市を繋ぐ架け橋でもあると感じているので、まずはここから、そして私自身にも、できることとして、これからも協力していけたらと思っている。(30代 女性 西部)
- 4 4 市政モニターの意見や提案がどのように市政に活かされているのか具体的に公表してほしい。各市議会議員にもモニターの意見や提案を説明し、その上で各市議会議員の意見や今後の取り組みを聞きたい。(30代 男性 中央)
- 4 5 初めて市政モニターに参加した。アンケート結果を審議会等で活用するとのことなので、活用できるようなテーマ、設問を準備して、ぜひ有効に街づくりに活用していただきたい。あまりふさわしいテーマがない場合は、無理にテーマ選定をしてアンケートを実施する必要はないと思う。(60代 男性 東部)

制度の周知

- 4 6 市民が直接参加できるこの制度はうれしい。
この制度を知らない市民は多くいることと思う。一人でも多くの人に市政は自分たちの生活に直結するのだと知ってほしい。この警鐘を鳴らすことを市に対して求めたい。(40代 女性 西南部)
- 4 7 今年で2回目の市政モニターをやらせてもらった。これまで思うことがあっても、市政に自分の意見を言えないと思っていたので、自分の考えを伝える機会をもらえて良かった。今回のアンケート結果を踏まえ、来年度はより幅広い広報活動で募集を行ってほしい。ありがとうございました。(40代 女性 西南部)

モニターの対象者について

- 4 8 今の市政モニターは大人中心の考え方、問題点の捉議で、これはこの状態で続けてほしいが、若い人たちのモニターも必要かと思う。例えば、中学生、高校生、大学生の若者の目で感じた考え方等について問うのも良いのではないか。モニター内容は、別項のものを作成することになるが。(60代 男性 中央)
- 4 9 本年度市政モニターに参加をし、複数年のモニター経験をさせていただいている。毎年、委嘱状をいただいた折に配布される委嘱年度の年齢別構成表を拝見する度に思うことがある。それは、もっと多くの市民の方々に関心を持っていただき、同じ委嘱者に、連続年度の依頼を避けてもらうことが望ましいということである。そもそも市政モニター制度は、モニター個々人の自由な意思が反映されやすく、意見交換会や各種会議とは異なる利点があり、大変良い制度だと思われる。その反面、モニター自身の意欲が直接反映され、継続できるかどうかは本人次第という弱点もある。このため、上記表からは、市としてやむを

得ずに連続委嘱がなされていると考えられる。直接参考とはできないものの、利益追求を目的とした民間企業の調査では、できるだけ年齢層や性別、居所といった様々な観点を考慮し、同一人物が同時期に複数の調査項目の対象となることを避ける努力がなされている。一方で市政モニター制度は、住民サービスの向上を目的とする以上、一定期間に市民の自由な意思により参加表明がなされ、公正公平な選考を受けなければ、その任に就くことはできない。やむを得ない点があるにせよ、市政モニターの委嘱先が固定化する傾向にあるとすれば、多様な意見を必要とする市政への貴重な提言の場がうまく活用されていないと感じられる市民も多いと考えられるのではないだろうか。上記固定化を回避するために、対策が必要である。参考事例として、東京消防庁では、昨年度までと異なり、本年度から、連続委嘱を禁止していることや厚生労働省では3年間、同一人物への委嘱を禁止しているといった取り組みがなされている。参考にいただき、今後の市政モニター制度を有意義なものにしていただきたいと思う。(30代 男性 中央)

5 0 私の子育て中のフルタイム会社員で常に時間に追われ、議会の公聴や講演参加などはどうしても参加できないことが大半である。それでも市の取り組みを知りたいと思い、自分の感じていることを市民の声としてあげていきたいと考えてモニターに応募した。

モニターは全年代の意見が必要なことは言うまでもないが、今後は10代20代など、若い世代からの声を中心に集めるモニター企画があっても良いのではないかと。選挙での若者の投票率の低さが問題になっているが、政治や地域の取り組みに対して意見を持っている若者はたくさんいるはずである。選挙は票を投じることしかできないが、モニターならば自分の考えを具体的に伝えることができる。これからの八王子、そして国を創っていく若者からの意見を集めることは、市政の未来にもつながると思う。(30代 女性 東南部)

5 1 市政モニターの意見は重要と考えている。市民も明治、大正、昭和生まれと考え方が多様化している。モニターは人数制限なしに、希望者は全員参加できるようにしたらいいか！モニターへの協力費用を半減しても、八王子を考えていただける多くの市民の意見を聞くことがベターではないか。参加希望者は沢山いるのでよろしく願います。

(60代 男性 中央)

5 2 ネットでのモニターなら人数を増やすことが可能ではないか。その場合謝礼など不要。

(70代 男性 北部)

5 3 モニターの人数をもっと大きく増やして、できるだけ市民多数の意見を吸い上げて市政に反映させてほしい。

(60代 男性 北部)

内容の改善提案

5 4 八王子市が、どんな取り組み、まちづくりをしているのか、分かりやすい言葉で教えてほしい。意味、中身がわからないモノが多すぎる。(30代 女性 東南部)

5 5 現在年3回だが、市政を考える良いキッカケになるので、もう少し多くても良いと思った。(40代 女性 中央)

5 6 八王子市が中核市へ移行すれば、行政で八王子色をより強く出し、より民意の反映した街づくりが期待される。この市政モニター制度の重要性もよりいっそう増してくる。このような観点から、モニター人員の増強やアンケート内容の拡充(回数、質問項目等)を図

ることも検討すべき。

モニターには、市政に関心のある市民が応募していると考えられるが、応募していない大多数の市民の声はどのように市政に反映していくのか。無作為抽出による「アンケート」を市民に送り、そこから民意をくみ取るという方法もある。市民の声を行政に反映させるためには、あらゆる手立てが必要。

市政モニターになって、改めて市政の難しさを実感した。しかし、今まで以上に市政のことを深く考えるようになった。これからも市政としっかり関わりを持って、大好きな八王子の街で生きていきたい。(60代 女性 東部)

- 5 7 謝礼などなくして、その分の費用をもっと多く意見を聞き、活用するようにしてほしい。(40代 女性 中央)
- 5 8 市政モニターは続けて行った方が良くと思う。もっともっと色々な人達の声聞いた方が良く思う。(40代 女性 西南部)
- 5 9 アンケートの回数が少ない。(70代 女性 西部)
- 6 0 モニター制度は色々市民からの意見が聞けると思うので色々なテーマでアンケートを行い、住みやすい市にしたい。(50代 男性 西部)
- 6 1 さらに詳しく、記述式を多くしてほしい。(50代 女性 中央)
- 6 2 アンケートで聞かれることは、関係はあるが、感覚的に少し遠い感じがする。あとエクセルで、質問を添付してもらえると助かる。(50代 女性 東部)
- 6 3 もう少し見やすいアンケート形式が良い。(50代 女性 西南部)

回答方法について

- 6 4 ネットでの回答の方が楽かなと思う。少ない設問数で1つの題についてマメに回答する方が答えやすい。(60代 男性 西部)
- 6 5 市政モニターになり、より八王子に興味があった。子ども達(孫)にも、八王子の歴史に興味を持ってほしいと思った。又、八王子に愛着を持つためにも、特に他市から来た人にPRと、既存地域の自然と歴史あふれる地域との交流が必要と思う。
これからは、若い人にも参加してもらうために、インターネットでモニターもありだと思ふ。(70代 女性 東部)
- 6 6 種々雑多かつ玉石混淆の意見が出されるわけで、実際にどのように役立つのだろうか。熟慮して回答してもらうには、「Eメール」方式は適当だろうか。モニター構成比は「一般」が34人、「Eメール」が65人となっているが、比率はむしろ逆にすべきではないかと考える(極論すれば、「Eメール」は止めた方がよい)。(70代 男性 北部)
- 6 7 Eメールモニターもあるが、一般モニターに対して取り組みやすいので、今後も一般モニターを続けてほしい。ただ、アンケート結果については、毎回紙面でまとめず、ネットや希望者のみでいいような気がする。(30代 女性 西南部)
- 6 8 市政モニター制度は、グッドアイデアと思う。文章での回答は行政の方で整理することが大変だと思う。電子回答が主流化の時だから…。しかし、老人家庭の増加、共稼ぎ家庭の増加、若い家庭と老人家庭が別居の増加等、社会の市民構成がますます多様化している。その状況下で、市民目線での意見を求める手段としては、文章回答が全体を網羅すると思

う。広く市民の意見をベースの行政は大切だと思う。変化の激しい時代こそ、市民と歩調を合わせた行政を望む。(70代 男性 西南部)

6 9 市政モニターについてメールで回答しているが、これだとフォームが崩れてアンケート内容が見やすくないので、アンケート用の専用ホームページを立ち上げてくれると使い勝手が良いと思う。(40代 男性 西南部)

7 0 以前、用紙回答で市政モニターをしたことがあったが、メール回答の方が、記入も簡単で気軽にできた。(40代 女性 中央)

その他

7 1 年々、世帯数は多少増加しているようであるが人口は減少しているようだ。人口の減少は市勢の衰えに思える。人口の増加を計る施策を考慮されたいと思う。

(70代 男性 東南部)

7 2 アンケートメールがいつ届くのかわからないため、携帯メールでの参加をお願いしたい。

(30代 女性 西部)

7 3 みんなの意見を聞いて、住みやすい八王子にしてほしい。(20代 男性 東南部)

7 4 来年も是非参加させてほしい。(30代 女性 西南部)

平成 25 年度市政モニター 第 3 回アンケート結果
平成 26 年 3 月

発行 八王子市総合経営部 広聴課
八王子市元本郷町三丁目 24 番 1 号
電話 042 (620) 7411 (直通)
F A X 042 (620) 7322
